

※ 各法人の年度計画に係る業務実績を検証願います(提出期限 8月8日(火))。検証は法人ごとに行うもので、法人間の比較を行うものではありません。 委員氏名 []

県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

1 ブロック : 1-1-1 より質の高い医療の提供 ~ 1-1-3 診療体制の充実

1-1-1 より質の高い医療の提供

岐阜県総合医療センター		岐阜県立多治見病院		岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																											
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																										
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 																																																																																																										
<p>項目番号 01</p> <p>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 生化学自動分析装置・検体搬送分注装置や連続血管撮影装置等の高度先進医療機器を計画的に更新・整備を行い、第2期中期計画期間中(平成31年度まで)の主要医療機器の更新・整備計画に基づき、合理的・効率的な更新・整備を進める。 	<p>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 高価な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案するとともに、人材育成を見据えた視点から先進医療機器を整備し、医療の先進性と質の向上を図った。 <p>○代表的な更新・整備機器一覧</p> <table border="1"> <tr> <th>機器名等</th> <th>整備目的・用途等</th> </tr> <tr> <td>心臓血管撮影装置</td> <td>循環器内科領域において使用</td> </tr> <tr> <td>シーリングペンダント</td> <td>新生児内科領域において使用</td> </tr> </table> <p>※3千万円以上の高額機器</p> <p>○更新・整備を実施した機器の稼働件数 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名/年度</th> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)</td> <td>H24</td> <td>88</td> <td>131</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>X線CT装置</td> <td>H25</td> <td>26,316</td> <td>26,476</td> <td>19,368</td> </tr> <tr> <td>エキシマレーザー血管形成装置</td> <td>H25</td> <td>22</td> <td>14</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッド手術システム</td> <td>H25</td> <td>861</td> <td>1,180</td> <td>655</td> </tr> <tr> <td>手術用顕微鏡システム</td> <td>H26</td> <td>8</td> <td>96</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>循環器画像保存システム</td> <td>H26</td> <td>0</td> <td>2,454</td> <td>2,571</td> </tr> <tr> <td>内視鏡ファイリングシステム</td> <td>H26</td> <td>0</td> <td>8,518</td> <td>8,454</td> </tr> <tr> <td>全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)(H28.3稼働)</td> <td>H27</td> <td>—</td> <td>96</td> <td>812</td> </tr> <tr> <td>全身用コンピュータ断層装置(CT装置)(H28.3稼働)</td> <td>H27</td> <td>—</td> <td>316</td> <td>10,315</td> </tr> <tr> <td>心臓血管撮影装置(カテ室2)(H28.1稼働)</td> <td>H27</td> <td>—</td> <td>263</td> <td>1,109</td> </tr> <tr> <td>心臓血管撮影装置(カテ室3)(H29.1稼働)</td> <td>H28</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>201</td> </tr> </tbody> </table>	機器名等	整備目的・用途等	心臓血管撮影装置	循環器内科領域において使用	シーリングペンダント	新生児内科領域において使用	機器名/年度	年度	H26	H27	H28	内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	H24	88	131	131	X線CT装置	H25	26,316	26,476	19,368	エキシマレーザー血管形成装置	H25	22	14	24	ハイブリッド手術システム	H25	861	1,180	655	手術用顕微鏡システム	H26	8	96	146	循環器画像保存システム	H26	0	2,454	2,571	内視鏡ファイリングシステム	H26	0	8,518	8,454	全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)(H28.3稼働)	H27	—	96	812	全身用コンピュータ断層装置(CT装置)(H28.3稼働)	H27	—	316	10,315	心臓血管撮影装置(カテ室2)(H28.1稼働)	H27	—	263	1,109	心臓血管撮影装置(カテ室3)(H29.1稼働)	H28	—	—	201	<p>IV</p> <p>項目番号 01</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度医療機器について、新たに策定する医療機器整備7ヵ年計画に基づいて更新・整備を進める。 老朽化が進んでいる放射線治療装置(ライナック)などの高度医療機器の更新・整備を行う。 新中央診療棟の整備に向けて、具体的な診療機能や施設規模等についての計画を策定する。 <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護職員修学資金貸付などの支援制度を継続実施する。 ガイダンスへの参加、学校訪問等を積極的に行うとともに、インターネットや新聞などの広報媒体を活用した看護師、コメディカルの募集活動を実施する。 定年を向かえた医師、看護師等のうち、病院経営に寄与すると認められる職員の再雇用を実施する。 大学医局との連携などによる医師確保に努める。 医師や看護師の業務負担軽減を推進するため、医師事務作業補助者や看護事務補助者などの確保に努める。 医師事務作業補助者について、診療科ごとのフォローアップ体制の確立や実務に即した研修体制の充実により資質向上を図り、さらなる医師の負担軽減を推進する。 仕事と家庭を両立させるため、育児部分休業の活用や、院内保育施設での夜間保育・休日保育・病児保育を引き続き実施するとともに、職員のニーズに柔軟に対応できる体制づくりに努める。 	<p>IV</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度・先進医療、急性期医療、政策医療等が提供できるような病床機能や規模、将来予測等をふまえた新中央診療棟整備の基本計画を策定した。 老朽化により更新整備する放射線治療装置(トゥルービーム)について機器の購入契約を締結するとともに高精度放射線治療センターの増改築工事を行った(工期:平成28年5月~平成29年5月)。 新中央診療棟整備に関連し今後、高額な医療機器更新が見込まれるため、購入費用が抑制される中、その他の高度医療機器についても緊急度や優先順位を勘案し、整備を行った。閉鎖していた東7階病棟を改修し血液浄化センターを拡充し、透析システム等必要な機器を整備した。 <p>【更新・整備した主な機器】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備目的・用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線治療装置(トゥルービーム)</td> <td>がんの放射線治療に使用(正常な組織を守り、腫瘍のみ集中的に治療)</td> </tr> <tr> <td>胆道鏡結石治療システム</td> <td>膵管や胆管へ挿入し、精査及び結石破碎治療を行う際に使用</td> </tr> <tr> <td>透析システム</td> <td>血液透析施行時に使用(血液浄化センター整備に伴う整備)</td> </tr> <tr> <td>超音波画像診断装置</td> <td>超音波画像診断(超音波を利用し生体内の状態を検査)を行う際に使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>※放射線治療装置は、購入契約のみ。(平成29年6月納期)</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 麻酔科医の退職により大幅な減員となったが、大学医局との連携や代務医の招聘により必要な医師の確保に努めた。看護師については、ガイダンスでの募集活動、学校訪問、看護職員修学資金等の支援制度により、その他のコメディカルについては、地域情報誌、インターネットを活用した募集により、医療従事者の充実を行った。医師、看護師の必要数確保が課題である。(●) 	機器名	整備目的・用途	放射線治療装置(トゥルービーム)	がんの放射線治療に使用(正常な組織を守り、腫瘍のみ集中的に治療)	胆道鏡結石治療システム	膵管や胆管へ挿入し、精査及び結石破碎治療を行う際に使用	透析システム	血液透析施行時に使用(血液浄化センター整備に伴う整備)	超音波画像診断装置	超音波画像診断(超音波を利用し生体内の状態を検査)を行う際に使用	<p>III</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院移転後の財務状況から、高額な機器については補助金等の活用を図ることを更新・整備の条件としている。 平成28年度は補助金活用により手術用顕微鏡システムを更新することができたが、核医学検査装置については補助事業採択を得られなかったため、平成29年度に、内視鏡関連機器も新たに含め各種助成制度等を活用して購入する予定。 <p>【更新・整備を行った高額医療機器(予定価格2000万円以上)の稼働件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡ビデオシステム</td> <td>H25</td> <td>980</td> <td>1,059</td> <td>1,664</td> </tr> <tr> <td>X-TV透視診断装置</td> <td>H25</td> <td>314</td> <td>311</td> <td>343</td> </tr> <tr> <td>MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装置1.5T)</td> <td>H25</td> <td>2,846</td> <td>3,321</td> <td>3,050</td> </tr> <tr> <td>手術用顕微鏡システム</td> <td>H28</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26~27 高額医療機器の整備実績なし ※手術用顕微鏡システムは、H29.1~3月までの稼働実績</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>○医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師募集エージェントへの登録(インターネット等の活用) 募集情報を登録 5社(うち1社:採用情報提供サービスに係る有料契約を締結) 平成28年度 採用(医師) 3名 常勤医不在の診療科(小児科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、眼科)及び常勤医不足の診療科については、大学病院・県総合医療センター等からの支援医師(非常勤)により、診療体制を確保して診療を実施し、地域県民ニーズに対応した医療の推進を図った。 <p>【診療依頼延べ回数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,774 回</td> <td>2,008 回</td> <td>1,717 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○看護師負担の軽減と看護体制維持に必要な看護師数の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護部において、ワークライフバランス(WLB:仕事とプライベートのバランスをとれるようにする取り組み)の推進に取組んだ。 看護補助者の業務量調査を行い看護師業務の補 	機器名	整備年度	26年度	27年度	28年度	内視鏡ビデオシステム	H25	980	1,059	1,664	X-TV透視診断装置	H25	314	311	343	MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装置1.5T)	H25	2,846	3,321	3,050	手術用顕微鏡システム	H28	—	—	3	26年度	27年度	28年度	1,774 回	2,008 回	1,717 回
機器名等	整備目的・用途等																																																																																																														
心臓血管撮影装置	循環器内科領域において使用																																																																																																														
シーリングペンダント	新生児内科領域において使用																																																																																																														
機器名/年度	年度	H26	H27	H28																																																																																																											
内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	H24	88	131	131																																																																																																											
X線CT装置	H25	26,316	26,476	19,368																																																																																																											
エキシマレーザー血管形成装置	H25	22	14	24																																																																																																											
ハイブリッド手術システム	H25	861	1,180	655																																																																																																											
手術用顕微鏡システム	H26	8	96	146																																																																																																											
循環器画像保存システム	H26	0	2,454	2,571																																																																																																											
内視鏡ファイリングシステム	H26	0	8,518	8,454																																																																																																											
全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)(H28.3稼働)	H27	—	96	812																																																																																																											
全身用コンピュータ断層装置(CT装置)(H28.3稼働)	H27	—	316	10,315																																																																																																											
心臓血管撮影装置(カテ室2)(H28.1稼働)	H27	—	263	1,109																																																																																																											
心臓血管撮影装置(カテ室3)(H29.1稼働)	H28	—	—	201																																																																																																											
機器名	整備目的・用途																																																																																																														
放射線治療装置(トゥルービーム)	がんの放射線治療に使用(正常な組織を守り、腫瘍のみ集中的に治療)																																																																																																														
胆道鏡結石治療システム	膵管や胆管へ挿入し、精査及び結石破碎治療を行う際に使用																																																																																																														
透析システム	血液透析施行時に使用(血液浄化センター整備に伴う整備)																																																																																																														
超音波画像診断装置	超音波画像診断(超音波を利用し生体内の状態を検査)を行う際に使用																																																																																																														
機器名	整備年度	26年度	27年度	28年度																																																																																																											
内視鏡ビデオシステム	H25	980	1,059	1,664																																																																																																											
X-TV透視診断装置	H25	314	311	343																																																																																																											
MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装置1.5T)	H25	2,846	3,321	3,050																																																																																																											
手術用顕微鏡システム	H28	—	—	3																																																																																																											
26年度	27年度	28年度																																																																																																													
1,774 回	2,008 回	1,717 回																																																																																																													

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な医療従事者等を確保するため、職員採用試験の時期・回数をチェックし、計画的・効果的な職員採用に努める。 特に7：1看護体制を確保するために、看護師採用は随時実施する。 引き続き年俸制を導入し、平成22年度に構築した定年退職者（医師）の再雇用制度を効果的に運用する。 医師事務作業補助職員、看護事務補助職員等の配置を充実させる。 <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <p>岐阜大学病院等国内外先進病院への医師の研修派遣者数を増やし、医師をはじめ優れた職員を養成する。また、高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図る。</p> <p>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <p>より水準の高い看護を提供するため、認定看護師や専門看護師の資格取得を目指す看護師、または認定看護管理の資格取得を目指す管理者に対しては、中長期的に研修・講習に参加できる体制を引き続き確保する。</p> <p>○平成28年度 受講予定</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護師1人、認定看護管理7人（ファーストレベル5人、セカンドレベル2人） 岐阜県立看護大学大学院看護学研究科看護学専攻（専門看護師コース）1人 <p>○平成28年度 資格試験予定</p> <p>認定看護師1人</p>	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度当初看護師人数（H27:619人 → H28:648人）の増員などで、長時間勤務やローテーション維持等についての改善を図るとともに、7：1看護体制を上回る体制を確保できた。 <p>○医師等の確保状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師数</td> <td>161</td> <td>167</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>常勤歯科医師数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>574</td> <td>597</td> <td>609</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年度末現在</p> <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度専門医療の水準の維持・向上のため、医師の研修派遣を積極的に推進した。 <p>○専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績</p> <p>H27:918件 → H28:803件</p> <p>○医師の研修派遣・受入実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <p>認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的に認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を確保した。</p> <p>○認定看護師等資格取得状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん化学療法</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん放射線療法看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>乳がん看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19</td> <td>22</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>専門 小児看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22</td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H26	H27	H28	常勤医師数	161	167	166	常勤歯科医師数	3	3	3	常勤看護師数	574	597	609	項目/年度	H26	H27	H28	派遣	4	3	4	受入	7	5	6	項目/年度	H26	H27	H28	がん化学療法	2	2	2	がん性疼痛	1	1	1	感染管理	3	3	3	救急看護	2	2	2	小児救急	1	1	1	摂食・嚥下障害	1	1	1	皮膚・排泄ケア	3	3	3	新生児集中ケア	1	1	1	集中ケア	1	1	2	糖尿病看護	1	1	1	がん放射線療法看護	1	1	1	乳がん看護	1	1	1	認定看護管理者	1	2	2	慢性心不全	-	1	1	緩和ケア	-	1	1	計	19	22	23	専門 小児看護	2	2	2	がん看護	1	1	1	計	3	3	3	合計	22	25	26	<p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学等と連携し、関連する各診療科の医師の教育研修等を継続する。 岐阜県医師確保育成コンソーシアム及び名古屋大学卒業臨床研修・キャリア形成支援センターと連携し、医師としての資質向上を図る。 卒後臨床研修評価機構の受審結果を踏まえ、臨床研修病院として研修プログラム等の充実を図る。 <p>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護師及び専門看護師等の研修派遣を継続して行う。 「がん化学療法看護認定看護師」「がん専門看護師」 <p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、引き続き国、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行う。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分野</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">認定</td> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテーション看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認知症看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>訪問看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>がん看護</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>急性・救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療従事者数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>124</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>463</td> <td>474</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>149</td> <td>154</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度末時点</p> <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による講演・勉強会を実施した。（計9回実施） 初期研修医ホームページをリニューアルし、研修プログラムの内容等を分かりやすく掲載した。研修プログラムについても名古屋大学医学部附属病院（麻酔科）を協力型臨床研修施設に追加する変更を行った。また、臨床研修専任の事務担当者（非常勤）を1名配置し、臨床研修体制を強化した。 <p>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> より水準の高い看護を提供するため、認定看護師等長期研修計画に基づき、感染管理認定看護師、がん専門看護師の資格取得に支援を行った。 <p>【認定看護師・専門看護師数】 単位：人（各年度末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分野</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">認定</td> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテーション看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認知症看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>訪問看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>がん看護</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>急性・救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【支援認定資格】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種専門薬剤師 認定薬剤師 指導薬剤師 その他 <p>＜講習・研修等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種学会、研修会、講演会等 <p>中央放射線部</p> <p>＜支援認定資格＞</p> <ul style="list-style-type: none"> マンモグラフィ撮影認定技師 IVR 専門診療放射線技師 医学物理士 放射線治療品質管理士 放射線治療専門放射線技師 日本磁気共鳴専門技術者 核医学専門技師認定 肺がんCT 検診認定技師 その他 <p>＜講習・研修等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本医学物理士講習会 日本放射線技師専門放射線技師認定機構統一講習会 日本放射線治療品質管理機構放射線治療品質管理講習会 その他各種行政機関、各種学術団体の主催する学会、研修会等 <p>臨床検査科</p> <p>＜支援認定資格＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 細胞検査士 超音波検査士 認定輸血検査技師 認定臨床微生物検査技師 認定血液検査技師 血管診療技師 糖尿病療養指導士 各種臨床検査士 POC コーディネーター その他各種学会認定資格 <p>＜講習・研修等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種行政機関、各種学術団体の主催する学会、研修会等 労働安全衛生法による作業主任者講習 	区分	分野	H27	H28	認定	皮膚・排泄ケア	2	2	集中ケア	2	2	緩和ケア	1	1	がん化学療法看護	1	1	がん性疼痛看護	1	1	感染管理	2	3	新生児集中ケア	1	1	摂食・嚥下障害看護	1	1	救急看護	1	1	慢性心不全看護	1	1	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	糖尿病看護	1	1	認知症看護	1	1	訪問看護	1	1	認定看護管理者	1	1	小計	18	19	専門	がん看護	2	3	急性・救急看護	1	1	区分\年度	H27	H28	医師	124	118	看護師・助産師	463	474	コメディカル	149	154	区分	分野	H27	H28	認定	皮膚・排泄ケア	2	2	集中ケア	2	2	緩和ケア	1	1	がん化学療法看護	1	1	がん性疼痛看護	1	1	感染管理	2	3	新生児集中ケア	1	1	摂食・嚥下障害看護	1	1	救急看護	1	1	慢性心不全看護	1	1	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	糖尿病看護	1	1	認知症看護	1	1	訪問看護	1	1	認定看護管理者	1	1	小計	18	19	専門	がん看護	2	3	急性・救急看護	1	1	<p>【看護師等に係る採用活動の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種別</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(専門業務) 看護師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(業務補助) 看護師</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(専門業務)看護補助者</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(業務補助)看護補助者</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度 4.1 採用者は、前年度の採用状況に含む。</p> <p>○コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>より質の高い医療の提供に必要なコメディカル、医師事務作業補助者の確保に取組んでいるが、薬剤師に係る欠員1名が充足できない状態が続いている。(●)</p> <p>【コメディカル（常勤）採用活動の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種別</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>理学療法士等</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度 4.1 採用者は、前年度の採用状況に含む。</p> <p>【医師事務作業補助者採用活動の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種別</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(専門業務) 医師事務作業補助者</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度 4.1 採用者は、前年度の採用状況に含む。</p> <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力型の臨床研修病院として、臨床研修プログラムで設定されている「地域医療研修（1ヶ月）」について他病院の臨床研修医の受入れを行った。 	職種別	H26	H27	H28	常勤	9	8	12	看護師	9	8	12	助産師	-	1	-	保健師	2	-	-	非常勤	3	3	1	(専門業務) 看護師	3	3	1	(業務補助) 看護師	4	5	1	(専門業務)看護補助者	-	-	-	(業務補助)看護補助者	-	-	2	職種別	H26	H27	H28	薬剤師	0	0	0	臨床検査技師	2	0	1	臨床工学技士	0	1	0	診療放射線技師	0	2	0	理学療法士等	6	2	2	社会福祉士	0	0	2	職種別	H26	H27	H28	(専門業務) 医師事務作業補助者	0	0	1
項目/年度	H26	H27	H28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
常勤医師数	161	167	166																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
常勤歯科医師数	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
常勤看護師数	574	597	609																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
項目/年度	H26	H27	H28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
派遣	4	3	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
受入	7	5	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
項目/年度	H26	H27	H28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
がん化学療法	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
がん性疼痛	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
感染管理	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
救急看護	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
小児救急	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
摂食・嚥下障害	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
皮膚・排泄ケア	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
新生児集中ケア	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
集中ケア	1	1	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
糖尿病看護	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
がん放射線療法看護	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
乳がん看護	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
認定看護管理者	1	2	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
慢性心不全	-	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
緩和ケア	-	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
計	19	22	23																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
専門 小児看護	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
がん看護	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
計	3	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
合計	22	25	26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
区分	分野	H27	H28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
認定	皮膚・排泄ケア	2	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	集中ケア	2	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	緩和ケア	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	がん化学療法看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	がん性疼痛看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	感染管理	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	新生児集中ケア	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	摂食・嚥下障害看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	救急看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	慢性心不全看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	脳卒中リハビリテーション看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	糖尿病看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	認知症看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	訪問看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
認定看護管理者	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
小計	18	19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
専門	がん看護	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	急性・救急看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
区分\年度	H27	H28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
医師	124	118																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
看護師・助産師	463	474																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
コメディカル	149	154																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
区分	分野	H27	H28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
認定	皮膚・排泄ケア	2	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	集中ケア	2	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	緩和ケア	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	がん化学療法看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	がん性疼痛看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	感染管理	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	新生児集中ケア	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	摂食・嚥下障害看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	救急看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	慢性心不全看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	脳卒中リハビリテーション看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	糖尿病看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	認知症看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	訪問看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
認定看護管理者	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
小計	18	19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
専門	がん看護	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	急性・救急看護	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
職種別	H26	H27	H28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
常勤	9	8	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
看護師	9	8	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
助産師	-	1	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
保健師	2	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
非常勤	3	3	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
(専門業務) 看護師	3	3	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
(業務補助) 看護師	4	5	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
(専門業務)看護補助者	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
(業務補助)看護補助者	-	-	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
職種別	H26	H27	H28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
薬剤師	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
臨床検査技師	2	0	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
臨床工学技士	0	1	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
診療放射線技師	0	2	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
理学療法士等	6	2	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
社会福祉士	0	0	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
職種別	H26	H27	H28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
(専門業務) 医師事務作業補助者	0	0	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																																														
H28年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																																																													
	・特に進捗した取組	自己評価		・特に進捗した取組	自己評価		・特に進捗した取組	自己評価																																																																																																																																												
	<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 						<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 																																																																																																																																													
	<p>○研修実績</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td> 【長期】 ・集中ケア H27.4～H27.12 1人 (H28資格取得) 【短期】 ・認定看護管理制度 H27:1人→H28:0人 ・実習指導者講習会 H27:2人→H28:2人 ・医療安全研修 H27:1人→H28:3人 ・岐阜県教員養成講習会 H27:1人→H28:0人 </td> </tr> <tr> <td>学会等参加</td> <td> ・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・その他 看護学会等 H27:延べ602人→H28:延べ819人 </td> </tr> </table>	項目	内容	認定看護師	【長期】 ・集中ケア H27.4～H27.12 1人 (H28資格取得) 【短期】 ・認定看護管理制度 H27:1人→H28:0人 ・実習指導者講習会 H27:2人→H28:2人 ・医療安全研修 H27:1人→H28:3人 ・岐阜県教員養成講習会 H27:1人→H28:0人	学会等参加	・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・その他 看護学会等 H27:延べ602人→H28:延べ819人		<p>臨床工学部</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体外循環技術認定士 ・呼吸療法認定士 ・透析療法認定士 ・不整脈治療専門認定士 ・呼吸治療専門認定士 ・血液浄化専門認定士 ・内視鏡専門技士 ・医療機器情報コミュニケーター <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種行政機関、各種学術団体の主催する学会、研修会等 <p>リハビリテーション科</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓リハビリテーション指導士 ・3学会合同呼吸療法認定士 ・日本糖尿病療養指導士 <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんのリハビリテーション研修、リンパ浮腫研修 ・高次脳機能障害支援事業にともなう、必要な知識、診療に関する研修会 ・内部障害関連(呼吸、循環、代謝)に関する研修、講習会、学会 ・手の外科(ハンドセラピー)関連の知識、技術の習得 ・脳卒中急性期の作業療法に対するの更なる知識の習得 ・ICU、HCU等急性期リハビリテーション知識、技術の習得 ・摂食、嚥下療法関連の知識、技術の習得 ・病棟専従療法士の技術の習得、関連研修 ・理学療法学会、作業療法学会、言語聴覚学会等 <p>栄養管理部</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病療養指導士 ・NST専門療法士 ・病態栄養管理栄養士 <p><講習・研修会等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本糖尿病学会 ・静脈経腸栄養学会 ・病態栄養学会 ・地域社会振興財団主催管理栄養士研修会 ・その他栄養関連学会・研修会等 	<p>施：年8回</p> <p>【コメディカル専門研修の参加人数】</p> <p>単位：人</p> <table border="1"> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>30</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>41</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>76</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>19</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>18</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>16</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>200</td> <td>179</td> </tr> </table> <p>6 EBMの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパス推進委員会にてクリニカルパスの実績の検証を通じて、その内容の充実を図った。平成28年度は、クリニカルパスの新設、使用率の向上を目標に取り組んだ。消化器内科、神経内科、外科、血管外科で新規のクリニカルパスを新設することができ、全体の利用率も平成27年度を3.2ポイント上回る42.8%となった。 <p>【診療科別クリニカルパスの内訳】</p> <p>単位：件</p> <table border="1"> <tr> <th>診療科名\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>28</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>36</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>呼吸器科</td> <td>3</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>外科・消化器外科</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>循環器科</td> <td>13</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>102</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>208</td> <td>239</td> </tr> </table> <p>【クリニカルパス利用率】</p> <table border="1"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>39.6%</td> <td>42.8%</td> </tr> </table> <p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NST(栄養サポートチーム)、RST(呼吸ケアサポートチーム)、ICT(感染防止対策チーム)、精神科リエゾンチーム、褥瘡チーム、PCT(緩和ケアチーム)、糖尿病チーム、医療安全チーム、摂食嚥下チーム、口腔ケアチームによる活動を行った。 <p>8 メディカカードの導入などのITの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に導入配備したメディカカードシステム(カード発行端末及び読み取り端末)のさらなる充実と活用のため、県立3病院の電子カルテ担当会議に岐阜大学医学部附属病院の小倉院長を招聘し、今後の展開や可能性について検討を行った。 	区分\年度	H27	H28	薬剤師	30	47	臨床検査技師	41	29	放射線技師	76	35	臨床工学技士	19	31	リハビリ技師	18	28	管理栄養士	16	9	合計	200	179	診療科名\年度	H27	H28	産婦人科	28	30	整形外科	36	43	呼吸器科	3	23	外科・消化器外科	26	27	循環器科	13	14	その他	102	102	合計	208	239	H27	H28	39.6%	42.8%	<p>4 認定看護師等看護の専門性を高める資格取得の促進</p> <p>患者及びその家族に接する機会が多い看護職の専門性の向上及び水準の高い看護を提供するため、各種認定看護師等看護の専門性を高める資格取得を促進する。新卒看護職員卒後研修やラダー研修(キャリアアップの階層研修)を開催し、看護実践能力の習得を支援する。</p> <p>今年度は、認定者による管理者資格の取得並びに感染管理認定看護師の資格取得を目指して、1名が認定看護師教育機関が実施する認定看護管理者試験を受験するとともに、1名が認定看護師教育課程を受講する。</p> <p>また、eラーニング(Electronic Learning)による研修を推進する。</p> <p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士等の技術職について、研修等を充実し、専門技能の向上を図る。特に、理学療法士等のリハビリ職員については、疾患別体系の担当者別に職員の専門的・実践的研修を実施する。また、学会発表、技師会活動を支援するほか、先進病院への出向研修支援を行い、各種認定資格の取得を促進することで専門性を高めるなど、優れた技能・知識を有する職員の養成に努める。</p> <p>6 EBMの推進</p> <p>学会の診療ガイドライン等に基づいたクリニカルパス(入院患者に対する治療の計画を示した日程表)を作成し、クリニカルパスの積極的な活用強化に取り組む。</p>	<p>【受入状況】</p> <table border="1"> <tr> <th>病院名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>岐阜大学医学部附属病院</td> <td>5名</td> <td>3名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>県総合医療センター</td> <td>3名</td> <td>4名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>岐阜市民病院</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10名</td> <td>7名</td> <td>9名</td> </tr> </table> <p>※歯科を含む。</p> <p>4 認定看護師等看護の専門性を高める資格取得の促進</p> <p>○認定看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護管理者 1名合格 ・感染管理認定看護師 1名受講 ・ファーストレベル 2名修了 ・セカンドレベル 1名修了 <p>○「新人看護職員教育研修」に従事する職員の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修責任者研修 1名 ・教育担当者研修 1名 ・実地指導者研修 2名 <p>○その他の専門研修参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護補助者活用推進研修 2名 ・災害ナース育成フォローアップ 5名 ・重症度・医療・看護必要度院内指導者研修 15名 <p>【認定看護師数(各年度末時点)】</p> <table border="1"> <tr> <th>分野</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>皮膚排泄ケア</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリ</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下</td> <td>-</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4名</td> <td>5名</td> <td>6名</td> </tr> </table> <p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コメディカルの研修会、学会への参加に対して経費的支援を行い、専門技術・技能の向上を図った。 <p>【コメディカルの研修会・学会参加人数】</p> <table border="1"> <tr> <th>職種</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>5名</td> <td>8名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>11名</td> <td>12名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>12名</td> <td>7名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>14名</td> <td>15名</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>22名</td> <td>24名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>3名</td> <td>4名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>67名</td> <td>70名</td> <td>53名</td> </tr> </table> <p>6 EBMの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテ運用において、診療の標準化を図るためのシステム設定を必要に応じ実施し、医療情報システムの有効活用に努めた。 ・今後、地域包括ケア病棟の利用を推進することで、7:1病棟の平均在院日数の短縮を図り、また、介護施設を含む在宅復帰を支援するため、クリニカルパスの見直し、改善、作成に取り組む。 	病院名	26年度	27年度	28年度	岐阜大学医学部附属病院	5名	3名	5名	県総合医療センター	3名	4名	3名	岐阜市民病院	2名	0名	1名	計	10名	7名	9名	分野	26年度	27年度	28年度	皮膚排泄ケア	1名	1名	1名	感染管理	1名	1名	1名	脳卒中リハビリ	1名	1名	1名	緩和ケア	1名	1名	1名	摂食・嚥下	-	1名	1名	認定看護管理者	-	-	1名	計	4名	5名	6名	職種	26年度	27年度	28年度	薬剤師	5名	8名	6名	検査技師	11名	12名	12名	臨床工学技士	12名	7名	5名	放射線技師	14名	15名	19名	リハビリ技師	22名	24名	8名	管理栄養士	3名	4名	3名	計	67名	70名	53名
項目	内容																																																																																																																																																			
認定看護師	【長期】 ・集中ケア H27.4～H27.12 1人 (H28資格取得) 【短期】 ・認定看護管理制度 H27:1人→H28:0人 ・実習指導者講習会 H27:2人→H28:2人 ・医療安全研修 H27:1人→H28:3人 ・岐阜県教員養成講習会 H27:1人→H28:0人																																																																																																																																																			
学会等参加	・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・その他 看護学会等 H27:延べ602人→H28:延べ819人																																																																																																																																																			
区分\年度	H27	H28																																																																																																																																																		
薬剤師	30	47																																																																																																																																																		
臨床検査技師	41	29																																																																																																																																																		
放射線技師	76	35																																																																																																																																																		
臨床工学技士	19	31																																																																																																																																																		
リハビリ技師	18	28																																																																																																																																																		
管理栄養士	16	9																																																																																																																																																		
合計	200	179																																																																																																																																																		
診療科名\年度	H27	H28																																																																																																																																																		
産婦人科	28	30																																																																																																																																																		
整形外科	36	43																																																																																																																																																		
呼吸器科	3	23																																																																																																																																																		
外科・消化器外科	26	27																																																																																																																																																		
循環器科	13	14																																																																																																																																																		
その他	102	102																																																																																																																																																		
合計	208	239																																																																																																																																																		
H27	H28																																																																																																																																																			
39.6%	42.8%																																																																																																																																																			
病院名	26年度	27年度	28年度																																																																																																																																																	
岐阜大学医学部附属病院	5名	3名	5名																																																																																																																																																	
県総合医療センター	3名	4名	3名																																																																																																																																																	
岐阜市民病院	2名	0名	1名																																																																																																																																																	
計	10名	7名	9名																																																																																																																																																	
分野	26年度	27年度	28年度																																																																																																																																																	
皮膚排泄ケア	1名	1名	1名																																																																																																																																																	
感染管理	1名	1名	1名																																																																																																																																																	
脳卒中リハビリ	1名	1名	1名																																																																																																																																																	
緩和ケア	1名	1名	1名																																																																																																																																																	
摂食・嚥下	-	1名	1名																																																																																																																																																	
認定看護管理者	-	-	1名																																																																																																																																																	
計	4名	5名	6名																																																																																																																																																	
職種	26年度	27年度	28年度																																																																																																																																																	
薬剤師	5名	8名	6名																																																																																																																																																	
検査技師	11名	12名	12名																																																																																																																																																	
臨床工学技士	12名	7名	5名																																																																																																																																																	
放射線技師	14名	15名	19名																																																																																																																																																	
リハビリ技師	22名	24名	8名																																																																																																																																																	
管理栄養士	3名	4名	3名																																																																																																																																																	
計	67名	70名	53名																																																																																																																																																	
<p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医学物理士 ・救急撮影認定技師 ・MR専門技術者 ・放射線治療品質管理士 ・検診マンモグラフィ診療放射線技師 ・診療放射線技師実習施設指導者講習会 ・PETサマーセミナー ・血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師 ・医療被ばく低減施設認定 ・その他各種学会、研修会等への参加 <p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞検査士 ・超音波検査士(循環器、消化器等) ・認定輸血検査技師 ・日本糖尿病療養指導士 ・感染制御認定臨床微生物検査技師 ・血管診療技師 ・認定心電検査技師 ・日本エコー図学会認定検査技師 ・認定一般検査技師 ・認定血液検査技師 ・認定管理検査技師 ・二級緊急臨床検査士 ・二級臨床検査技師(微生物学、病理学等) ・その他各種学会、研修会等への参加 <p>【薬剤センター】</p>	<p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。</p> <p>○専門研修への参加状況 単位：人</p> <table border="1"> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>198</td> <td>214</td> <td>231</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>117</td> <td>146</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>40</td> <td>23</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>59</td> <td>58</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>85</td> <td>94</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>510</td> <td>547</td> <td>687</td> </tr> </table> <p>○主な専門研修・講習会等</p> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本放射線技術学会 ・全国自治体病院放射線部会研修会 ・日本放射線治療セミナー ・日本核医学学術総会 ・日本磁気共鳴医学会 ・医学物理士ミニマム講習会 <p>※H28年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・X線CT認定技師1人 ・救急撮影認定技師2人 ・アドバンス診療放射線技師1人 <p>【臨床検査科】、【病理センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床衛生検査技師会 ・日本超音波学会 ・心臓リハビリテーション学会 ・日本臨床微生物学会 ・認定心電図検査技師講習会 ・日本輸血・細胞治療学会 ・日本心エコー図学会 ・日本検査血液学会 ・日本臨床細胞学会 <p>※H28年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超音波検査士(体表)1人、(血管)1人、 	項目/年度	H26	H27	H28	薬剤師	198	214	231	臨床検査技師	117	146	174	臨床工学技士	40	23	50	リハビリ技師	59	58	43	管理栄養士	11	12	15	放射線技師	85	94	174	合計	510	547	687	<p>6 EBMの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の医療制度改革の動向や平成28年度診療報酬改定に対応した病院全体の診療方針のあり方と各診療科における診療ガイドラインの充実を進める。 ・クリニカルパスについての実績を検証し、内容の充実を図ることにより医療の質の向上を図る。 <p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の役割を確実に遂行することで、チーム医療を継続して推進する。 ・チームメンバーや関係者との間で情報の共有化と連携を強化し、個別性のある医療を提供する。 ・ICT(感染防止対策チーム)、NST(栄養サポートチーム)やRST(呼吸ケアサポートチーム)、精神科リエゾンチーム、褥瘡対策チーム、PCT(緩和ケアチーム)、糖尿病チーム、糖尿病チームなどの活動を推進する。 <p>8 メディカカードの導入などのITの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディカカードシステムの更なる充実と活用を図るために、環境整備を行う。 																																																																																																																		
項目/年度	H26	H27	H28																																																																																																																																																	
薬剤師	198	214	231																																																																																																																																																	
臨床検査技師	117	146	174																																																																																																																																																	
臨床工学技士	40	23	50																																																																																																																																																	
リハビリ技師	59	58	43																																																																																																																																																	
管理栄養士	11	12	15																																																																																																																																																	
放射線技師	85	94	174																																																																																																																																																	
合計	510	547	687																																																																																																																																																	

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																													
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																												
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価																																											
<ul style="list-style-type: none"> がん専門薬剤師 感染制御専門薬剤師 糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 小児薬物療法認定薬剤師 緩和薬物療法認定薬剤師 その他各種学会、研修会等への参加 	(腹部) 1人 <ul style="list-style-type: none"> 超音波検査士 (循環器領域) 1人 認定血液検査技師 1人 特定化学物質および四アルキル鉛等作業主任者 3人 緊急臨床検査士 2人 日本輸血・細胞治療学会 I & A 視察員 1人 認定輸血検査技師 1人 認定臨床微生物検査技師 1人 感染制御認定臨床微生物検査技師 1人 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会修了者 21人 検査説明相談が出来る臨床検査技師育成講習会修了者 2人 細胞検査士 2人 有機溶剤取扱主任者 2人 		9 医療安全対策の充実 <ul style="list-style-type: none"> 医療の質及び安全の確保のため、インシデント及びアクシデント事例について分析を行い、再発防止のための安全対策を検討する。 インシデント、アクシデントレポートの集積及び分析を行い、医療安全部会、医療安全管理委員会などにおいて分析結果や検討内容を提供する。また、管理会議・医局会を通して院内の周知徹底を図る。 医療安全カンファレンスや多職種での院内安全ラウンドを通じて、組織横断的な医療安全活動を行う。 医療安全研修会や勉強会、医療安全推進週間を通じて医療安全に対する職員の意識を高める。 平成27年度見直しを行った医療安全マニュアルについて、今後も適宜見直しを行っていく。 	9 医療安全対策の充実 <ul style="list-style-type: none"> インシデントレポートの集計、分析を行い、医療安全管理委員会において再発防止策を検討した。その検討結果に基づき管理会議、医局会、看護部安全対策委員会等で注意喚起、周知を図った。また、インシデント事例から「医療安全のお知らせ」を作成し、会議で配布およびサイボウズ (院内職員共有イントラネット) に掲示し周知を図った。 多職種で協議検討を行うため、医療安全部メンバーの見直しに着手し、平成29年度から6名増員し、12名体制とする準備を進めた。 		むとともに、バリエーション分析 (設定した目標に対して逸脱した事項の分析) 等を行うことにより、医療の質の改善、向上及び標準化を図り、「最も信頼できる根拠」と「医療者の専門性」と「患者の臨床状況と価値観」を統合して、患者さんにとってよりよい医療 (E B M : Evidence Based Medicine) を提供する。 また、電子カルテを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、クリニカルパスの電子化や診療支援及び安全管理への活用を図り、医療水準の向上及び診療内容の標準化を進める。	【クリニカルパス種類数・使用数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">内科</td> <td>種類数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>71</td> <td>53</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">産婦人科</td> <td>種類数</td> <td>20</td> <td>23</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>298</td> <td>265</td> <td>169</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>99.0</td> <td>100.0</td> <td>98.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">小児科</td> <td>種類数</td> <td>12</td> <td>17</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>133</td> <td>227</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>99.2</td> </tr> </tbody> </table>	区分	26年度	27年度	28年度	内科	種類数	3	3	4	使用数	71	53	54	適用率	100.0	100.0	100	産婦人科	種類数	20	23	23	使用数	298	265	169	適用率	99.0	100.0	98.8	小児科	種類数	12	17	22	使用数	133	227	126	適用率	100.0	100.0	99.2	
区分	26年度	27年度	28年度																																																
内科	種類数	3	3	4																																															
	使用数	71	53	54																																															
	適用率	100.0	100.0	100																																															
産婦人科	種類数	20	23	23																																															
	使用数	298	265	169																																															
	適用率	99.0	100.0	98.8																																															
小児科	種類数	12	17	22																																															
	使用数	133	227	126																																															
	適用率	100.0	100.0	99.2																																															
【中央リハビリテーション部】 <ul style="list-style-type: none"> がんのリハビリテーション研修 3学会合同呼吸療法認定士 心臓リハビリテーション指導士 AHA BLS ICLS プロバイダ 日本糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 認定作業療法士 認定ハンドセラピスト その他各種学会、研修会等への参加 	【薬剤センター】 (医療安全) 全自病 医薬品安全管理責任者等講習会 (マネジメント) 全自病 薬剤管理研修会 (薬剤業務全般) <ul style="list-style-type: none"> 日病薬 新任薬剤師研修会 日本医療薬学会年会 日本薬剤師会学術大会 日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会 日薬東海薬剤師学術大会 実務実習指導薬剤師ワークショップ 日本麻酔科学会 周術期セミナー 日薬病院診療所薬剤師研修会 岐阜県病院協会医学大会 岐阜県病院薬剤師会研修会 医療薬学フォーラム 		10 院内感染防止対策の確立 <ul style="list-style-type: none"> 入院患者や職員に感染した場合やアウトブレイク時における迅速かつ適切な対応 (早期察知、早期介入、調査、分析、指導) を実践する。 職業感染対策や院内の感染対策の現状を評価し、より効果的な対策につながるよう I C T (感染防止対策チーム) の活動を継続し、感染対策に対する意識を高める。 感染対策に関する全職員を対象とした研修会を年2回以上開催するとともに、欠席者に対して研修内容が伝達されるようにフォローアップを行う。 I C D (感染症対策専門医)、I C N (感染管理看護師) などの感染対策の資格取得に向けた支援を行う。 	【インシデント・アクシデント件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>3,765</td> <td>3,273</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>30</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,795</td> <td>3,287</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H27	H28	インシデント	3,765	3,273	アクシデント	30	14	合計	3,795	3,287		7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <ul style="list-style-type: none"> 医療安全推進担当者間で隔月インシデント報告を行い、情報の共有ができた。各分野毎に委員会を組織し、課題や対策等の検討を行うなど、チーム医療の推進を図った。インシデント・アクシデント発生時の対応など医療安全対策室専従看護師が中心となり、各部門との情報収集・意見交換、連絡・調整・相談などを実施した。 	【医療安全講演会開催実績】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ (開催日)</th> <th>参加数</th> <th>DVD 研修会</th> <th>参加率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賠償事故事例の紹介と解説(9/15)</td> <td>575</td> <td>346</td> <td>87.3</td> </tr> <tr> <td>急性肺血栓塞栓症による突然死を防ぐ(2/16)</td> <td>520</td> <td>334</td> <td>81.4</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ (開催日)	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)	賠償事故事例の紹介と解説(9/15)	575	346	87.3	急性肺血栓塞栓症による突然死を防ぐ(2/16)	520	334	81.4		7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <p>あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、医師・看護師・コメディカル等職種間の協働に基づくチーム医療をより一層推進する。</p>	8 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <p>あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、医師・看護師・コメディカル等職種間の協働に基づくチーム医療をより一層推進する。</p>																	
区分\年度	H27	H28																																																	
インシデント	3,765	3,273																																																	
アクシデント	30	14																																																	
合計	3,795	3,287																																																	
テーマ (開催日)	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)																																																
賠償事故事例の紹介と解説(9/15)	575	346	87.3																																																
急性肺血栓塞栓症による突然死を防ぐ(2/16)	520	334	81.4																																																
【栄養センター】 <ul style="list-style-type: none"> 日本糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 病態栄養認定管理栄養士 その他各種学会、研修会等への参加 	【中央リハビリテーション部】 <ul style="list-style-type: none"> 3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 日本高次脳障害学会夏期教育研修 岐阜呼吸管理研究会 摂食・嚥下障害セミナー 		10 院内感染防止対策の確立 <ul style="list-style-type: none"> 入院患者や職員に感染した場合やアウトブレイク時における迅速かつ適切な対応 (早期察知、早期介入、調査、分析、指導) を実践する。 職業感染対策や院内の感染対策の現状を評価し、より効果的な対策につながるよう I C T (感染防止対策チーム) の活動を継続し、感染対策に対する意識を高める。 感染対策に関する全職員を対象とした研修会を年2回以上開催するとともに、欠席者に対して研修内容が伝達されるようにフォローアップを行う。 I C D (感染症対策専門医)、I C N (感染管理看護師) などの感染対策の資格取得に向けた支援を行う。 	【感染対策教育講演会開催実績】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ (開催日)</th> <th>参加数</th> <th>DVD 研修会</th> <th>参加率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県内施設とのデータ比較に基</td> <td>595</td> <td>371</td> <td>89.3</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ (開催日)	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)	岐阜県内施設とのデータ比較に基	595	371	89.3		8 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <p>あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、医師・看護師・コメディカル等職種間の協働に基づくチーム医療をより一層推進する。</p>	8 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <p>あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、医師・看護師・コメディカル等職種間の協働に基づくチーム医療をより一層推進する。</p>																																				
テーマ (開催日)	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)																																																
岐阜県内施設とのデータ比較に基	595	371	89.3																																																
【臨床工学部】 <ul style="list-style-type: none"> 医療機器安全管理責任者研修会 透析液安全管理責任者セミナー I C L S 認定インストラクター 3学会合同呼吸療法認定士 体外循環技術認定士 透析技術認定士 その他各種学会、研修会等への参加 	【栄養センター】 <ul style="list-style-type: none"> 自治体病院栄養部会研修会 日本心臓リハビリ学会東海支部地方会 日本静脈経腸栄養学会 日本病態栄養学会年次学術集会 日本栄養アセスメント研究会 食事療法学会 日本腎不全栄養研究会学術集会 		10 院内感染防止対策の確立 <ul style="list-style-type: none"> 入院患者や職員に感染した場合やアウトブレイク時における迅速かつ適切な対応 (早期察知、早期介入、調査、分析、指導) を実践する。 職業感染対策や院内の感染対策の現状を評価し、より効果的な対策につながるよう I C T (感染防止対策チーム) の活動を継続し、感染対策に対する意識を高める。 感染対策に関する全職員を対象とした研修会を年2回以上開催するとともに、欠席者に対して研修内容が伝達されるようにフォローアップを行う。 I C D (感染症対策専門医)、I C N (感染管理看護師) などの感染対策の資格取得に向けた支援を行う。 	【感染対策教育講演会開催実績】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ (開催日)</th> <th>参加数</th> <th>DVD 研修会</th> <th>参加率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県内施設とのデータ比較に基</td> <td>595</td> <td>371</td> <td>89.3</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ (開催日)	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)	岐阜県内施設とのデータ比較に基	595	371	89.3		8 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <p>あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、医師・看護師・コメディカル等職種間の協働に基づくチーム医療をより一層推進する。</p>	8 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <p>あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、医師・看護師・コメディカル等職種間の協働に基づくチーム医療をより一層推進する。</p>																																				
テーマ (開催日)	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)																																																
岐阜県内施設とのデータ比較に基	595	371	89.3																																																
	【薬剤センター】 (医療安全) 全自病 医薬品安全管理責任者等講習会 (マネジメント) 全自病 薬剤管理研修会 (薬剤業務全般) <ul style="list-style-type: none"> 日病薬 新任薬剤師研修会 日本医療薬学会年会 日本薬剤師会学術大会 日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会 日薬東海薬剤師学術大会 実務実習指導薬剤師ワークショップ 日本麻酔科学会 周術期セミナー 日薬病院診療所薬剤師研修会 岐阜県病院協会医学大会 岐阜県病院薬剤師会研修会 医療薬学フォーラム 		10 院内感染防止対策の確立 <ul style="list-style-type: none"> 入院患者や職員に感染した場合やアウトブレイク時における迅速かつ適切な対応 (早期察知、早期介入、調査、分析、指導) を実践する。 職業感染対策や院内の感染対策の現状を評価し、より効果的な対策につながるよう I C T (感染防止対策チーム) の活動を継続し、感染対策に対する意識を高める。 感染対策に関する全職員を対象とした研修会を年2回以上開催するとともに、欠席者に対して研修内容が伝達されるようにフォローアップを行う。 I C D (感染症対策専門医)、I C N (感染管理看護師) などの感染対策の資格取得に向けた支援を行う。 	【感染対策教育講演会開催実績】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ (開催日)</th> <th>参加数</th> <th>DVD 研修会</th> <th>参加率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県内施設とのデータ比較に基</td> <td>595</td> <td>371</td> <td>89.3</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ (開催日)	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)	岐阜県内施設とのデータ比較に基	595	371	89.3		8 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <p>あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、医師・看護師・コメディカル等職種間の協働に基づくチーム医療をより一層推進する。</p>	8 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <p>あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、医師・看護師・コメディカル等職種間の協働に基づくチーム医療をより一層推進する。</p>																																				
テーマ (開催日)	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)																																																
岐阜県内施設とのデータ比較に基	595	371	89.3																																																
	【薬剤センター】 (医療安全) 全自病 医薬品安全管理責任者等講習会 (マネジメント) 全自病 薬剤管理研修会 (薬剤業務全般) <ul style="list-style-type: none"> 日病薬 新任薬剤師研修会 日本医療薬学会年会 日本薬剤師会学術大会 日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会 日薬東海薬剤師学術大会 実務実習指導薬剤師ワークショップ 日本麻酔科学会 周術期セミナー 日薬病院診療所薬剤師研修会 岐阜県病院協会医学大会 岐阜県病院薬剤師会研修会 医療薬学フォーラム 		10 院内感染防止対策の確立 <ul style="list-style-type: none"> 入院患者や職員に感染した場合やアウトブレイク時における迅速かつ適切な対応 (早期察知、早期介入、調査、分析、指導) を実践する。 職業感染対策や院内の感染対策の現状を評価し、より効果的な対策につながるよう I C T (感染防止対策チーム) の活動を継続し、感染対策に対する意識を高める。 感染対策に関する全職員を対象とした研修会を年2回以上開催するとともに、欠席者に対して研修内容が伝達されるようにフォローアップを行う。 I C D (感染症対策専門医)、I C N (感染管理看護師) などの感染対策の資格取得に向けた支援を行う。 	【感染対策教育講演会開催実績】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ (開催日)</th> <th>参加数</th> <th>DVD 研修会</th> <th>参加率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県内施設とのデータ比較に基</td> <td>595</td> <td>371</td> <td>89.3</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ (開催日)	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)	岐阜県内施設とのデータ比較に基	595	371	89.3		8 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <p>あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、医師・看護師・コメディカル等職種間の協働に基づくチーム医療をより一層推進する。</p>	8 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <p>あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、医師・看護師・コメディカル等職種間の協働に基づくチーム医療をより一層推進する。</p>																																				
テーマ (開催日)	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)																																																
岐阜県内施設とのデータ比較に基	595	371	89.3																																																
	【薬剤センター】 (医療安全) 全自病 医薬品安全管理責任者等講習会 (マネジメント) 全自病 薬剤管理研修会 (薬剤業務全般) <ul style="list-style-type: none"> 日病薬 新任薬剤師研修会 日本医療薬学会年会 日本薬剤師会学術大会 日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会 日薬東海薬剤師学術大会 実務実習指導薬剤師ワークショップ 日本麻酔科学会 周術期セミナー 日薬病院診療所薬剤師研修会 岐阜県病院協会医学大会 岐阜県病院薬剤師会研修会 医療薬学フォーラム 		10 院内感染防止対策の確立 <ul style="list-style-type: none"> 入院患者や職員に感染した場合やアウトブレイク時における迅速かつ適切な対応 (早期察知、早期介入、調査、分析、指導) を実践する。 職業感染対策や院内の感染対策の現状を評価し、より効果的な対策につながるよう I C T (感染防止対策チーム) の活動を継続し、感染対策に対する意識を高める。 感染対策に関する全職員を対象とした研修会を年2回以上開催するとともに、欠席者に対して研修内容が伝達されるようにフォローアップを行う。 I C D (感染症対策専門医)、I C N (感染管理看護師) などの感染対策の資格取得に向けた支援を行う。 	【感染対策教育講演会開催実績】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ (開催日)</th> <th>参加数</th> <th>DVD 研修会</th> <th>参加率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県内施設とのデータ比較に基</td> <td>595</td> <td>371</td> <td>89.3</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ (開催日)	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)	岐阜県内施設とのデータ比較に基	595	371	89.3		8 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <p>あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、医師・看護師・コメディカル等職種間の協働に基づくチーム医療をより一層推進する。</p>	8 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <p>あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、医師・看護師・コメディカル等職種間の協働に基づくチーム医療をより一層推進する。</p>																																				
テーマ (開催日)	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)																																																
岐阜県内施設とのデータ比較に基	595	371	89.3																																																
	【薬剤センター】 (医療安全) 全自病 医薬品安全管理責任者等講習会 (マネジメント) 全自病 薬剤管理研修会 (薬剤業務全般) <ul style="list-style-type: none"> 日病薬 新任薬剤師研修会 日本医療薬学会年会 日本薬剤師会学術大会 日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会 日薬東海薬剤師学術大会 実務実習指導薬剤師ワークショップ 日本麻酔科学会 周術期セミナー 日薬病院診療所薬剤師研修会 岐阜県病院協会医学大会 岐阜県病院薬剤師会研修会 医療薬学フォーラム 		10 院内感染防止対策の確立 <ul style="list-style-type: none"> 入院患者や職員に感染した場合やアウトブレイク時における迅速かつ適切な対応 (早期察知、早期介入、調査、分析、指導) を実践する。 職業感染対策や院内の感染対策の現状を評価し、より効果的な対策につながるよう I C T (感染防止対策チーム) の活動を継続し、感染対策に対する意識を高める。 感染対策に関する全職員を対象とした研修会を年2回以上開催するとともに、欠席者に対して研修内容が伝達されるようにフォローアップを行う。 I C D (感染症対策専門医)、I C N (感染管理看護師) などの感染対策の資格取得に向けた支援を行う。 	【感染対策教育講演会開催実績】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ (開催日)</th> <th>参加数</th> <th>DVD 研修会</th> <th>参加率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県内施設とのデータ比較に基</td> <td>595</td> <td>371</td> <td>89.3</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ (開催日)	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)	岐阜県内施設とのデータ比較に基	595	371	89.3		8 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <p>あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、医師・看護師・コメディカル等職種間の協働に基づくチーム医療をより一層推進する。</p>	8 7 専門性を発揮したチーム医療の推進 <p>あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、医師・看護師・コメディカル等職種間の協働に基づくチーム医療をより一層推進する。</p>																																				
テーマ (開催日)	参加数	DVD 研修会	参加率 (%)																																																
岐阜県内施設とのデータ比較に基	595	371	89.3																																																

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院																																																																											
H28 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																									
		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		自己評価				<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		自己評価																																																																									
<p>6 EBMの推進</p> <p>ロボット支援手術をはじめとする鏡視下手術、ハイブリッド手術などの先進的医療を推進するとともに、各診療科において各種疾患診療ガイドラインに基づく標準診療を安全に効率的に実践する。そのために、現在使用されているクリニカルパスの使用率を向上させ、退院時に評価・完了し、改善に繋げる工程を強化する。</p> <p>また、クリニカルパス大会や研修会を開催して、新規クリニカルパスの登録を推進し、より多くの疾患についてEBMに基づく標準治療が実践できる環境を整える。</p> <p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <p>医師・看護師・薬剤師他コメディカル等の専門的知識を有した医療従事者が、1人の患者に対してより質の高い医療を提供するために協働及び連携し、情報の共有化を行う。</p> <p>また、チーム医療を進める上で、医療従事者は専門性の高い知識や技術を習得し、ガイドラインやプロトコル等を活用した治療の標準化の浸透を図る。</p> <p>8 メディカカードの導入などのITの活用</p> <p>心臓疾患の患者向けにメディカカードを発行し、救急医療現場での活用を図る。</p> <p>9 医療安全対策の充実</p> <p>安全な医療が提供できるよう医療安全管理マニュアルの改正及び遵守、状況の確認、評価を行う。医療事故調査制度が開始されたことに伴い、重大事故発生時には、これまで以上に速やかに事故調査を実施し発生要因を明らかにするとともに、医療事故の再発防止とリスクを回避するための方策を検討し共有化する。安全管理に関する研修会の内容を充実させ、参加人数を増やすことや医療安全に関するポスター展示を行い、さらなる安全意識の向上を図る。</p> <p>また、病棟会議、部署別会議、リスクマネージャー会議等で医療安全をテーマにした具体的な議論を進める。</p> <p>10 院内感染防止対策の確立</p> <p>感染制御チーム（ICT）が中心となり、定期的に各部署・部門の観察、指導（院内巡視）を行い、院内感染対策マニュアルの遵守状況について確認及び評価を行う。そして、感染防止委員会において、ICT巡視後の各部署の新たな感染対策の報告を実施する。また、</p>				<p>6 EBMの推進</p> <p>・医療の質の向上を目指したクリニカルパスの作成方法の習得を推進し、チーム医療の意識浸透を図ることを目的とする研修会を3回実施、227人（多職種）の参加を得た。</p> <p>○クリニカルパス作成種類数 単位：種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>319</td> <td>336</td> <td>337</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <p>・異なる職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することにより、治療やケアに当たることができた。</p> <p><主な医療チーム></p> <p>ICT、緩和ケアチーム、呼吸器ケアチーム、褥瘡ケアチーム、口腔ケアチーム、NSTチーム、摂食嚥下チーム</p> <p>8 メディカカードの導入などのITの活用</p> <p>・救急医療現場での活用を図るため、心臓疾患の患者にメディカカードの作成を勧めた。</p> <p>発行累計 H27:9件 → H28:12件</p> <p>9 医療安全対策の充実</p> <p>・発生したインシデント・アクシデント事案については、医療安全管理委員会で検討したうえで、病棟会議や医療安全便りを通じて全職員に周知を図った。特に、重大事例につながる事案については、発生原因を明らかにし、再発防止とリスクを回避する方策を検討した。</p> <p>○インシデント・アクシデント報告数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベル0</td> <td>326</td> <td>430</td> <td>411</td> </tr> <tr> <td>レベル1</td> <td>1,873</td> <td>2,007</td> <td>1,804</td> </tr> <tr> <td>レベル2</td> <td>445</td> <td>538</td> <td>559</td> </tr> <tr> <td>レベル3 a</td> <td>346</td> <td>340</td> <td>326</td> </tr> <tr> <td>小計（インシデント）</td> <td>2,990</td> <td>3,315</td> <td>3,100</td> </tr> <tr> <td>レベル3 b</td> <td>54</td> <td>61</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>レベル4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>レベル5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>小計（アクシデント）</td> <td>54</td> <td>61</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,044</td> <td>3,376</td> <td>3,170</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医療安全研修会を積極的に開催し、多数の参加を得た。</p> <p>H27:16回 延べ3,293人→H28:16回 延べ3,621人</p> <p>10 院内感染防止対策の確立</p> <p><新生児センター></p> <p>・毎週火曜日、監視培養を継続的に実施して</p>				H26	H27	H28	319	336	337	項目／年度	H26	H27	H28	レベル0	326	430	411	レベル1	1,873	2,007	1,804	レベル2	445	538	559	レベル3 a	346	340	326	小計（インシデント）	2,990	3,315	3,100	レベル3 b	54	61	68	レベル4	0	0	2	レベル5	0	0	0	小計（アクシデント）	54	61	70	合計	3,044	3,376	3,170	<table border="1"> <thead> <tr> <th>づく当院の感染対策の現状 (7/26)</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染症アウトブレイク対策 (1/24)</td> <td>562</td> <td>408</td> <td>90.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※DVD研修会：参加率100%を目指すため実施</p>				づく当院の感染対策の現状 (7/26)				感染症アウトブレイク対策 (1/24)	562	408	90.9	<p>優先にして万全な対応を行うことができるように、情報の収集・分析による医療安全対策の徹底及び医療安全文化の醸成など安全管理に関する研修体制を充実する。</p> <p>今年度も院内全職員を対象にした医療安全推進大会を実施する。</p> <p>10 院内感染防止対策の確立</p> <p>複数の医療職から構成する院内感染対策室を中心に、職員に対する院内防止対策（マニュアル）の周知徹底・啓発を行うとともに、定期的に感染対策委員会を開催し、感染の状況や感染対策活動の評価等を行う。</p> <p>また、重大な院内感染が発生した場合には、医療事故と同様に、原因の分析・再発防止策の立案と県民に対する適正な情報提供に努める。</p> <p>今年度も引き続き、抗生剤の適正使用について及び全職種間での手指衛生の徹底について、重点的に取り組む。</p>													
H26	H27	H28																																																																																	
319	336	337																																																																																	
項目／年度	H26	H27	H28																																																																																
レベル0	326	430	411																																																																																
レベル1	1,873	2,007	1,804																																																																																
レベル2	445	538	559																																																																																
レベル3 a	346	340	326																																																																																
小計（インシデント）	2,990	3,315	3,100																																																																																
レベル3 b	54	61	68																																																																																
レベル4	0	0	2																																																																																
レベル5	0	0	0																																																																																
小計（アクシデント）	54	61	70																																																																																
合計	3,044	3,376	3,170																																																																																
づく当院の感染対策の現状 (7/26)																																																																																			
感染症アウトブレイク対策 (1/24)	562	408	90.9																																																																																
<p>夜間は戸を閉める。救急室は不在にするときは薬品庫の戸を閉め施錠をすることを徹底した。</p> <p>【インシデント・アクシデント件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>975件</td> <td>1233件</td> <td>1381件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>9件</td> <td>8件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>984件</td> <td>1241件</td> <td>1392件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○医療安全管理に関する研修体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度も、院内全職員を対象にした医療安全推進大会を実施した。 新人教育以外の職員に対して、医療機器・薬剤・検査の学習会の回数を増やした結果、学習会参加人数が増えた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">研修名</th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> </tr> <tr> <th>実施数</th> <th>参加数</th> <th>実施数</th> <th>参加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全全職員研修会</td> <td>2回</td> <td>626名</td> <td>2回</td> <td>662名</td> </tr> <tr> <td>医療機器学習会</td> <td>2回</td> <td>10名</td> <td>4回</td> <td>49名</td> </tr> <tr> <td>薬剤学習会</td> <td>2回</td> <td>12名</td> <td>4回</td> <td>85名</td> </tr> <tr> <td>検査学習会</td> <td>1回</td> <td>6名</td> <td>2回</td> <td>51名</td> </tr> <tr> <td>臨時研修会</td> <td>3回</td> <td>17名</td> <td>3回</td> <td>43名</td> </tr> <tr> <td>新人研修</td> <td>8回</td> <td>76名</td> <td>7回</td> <td>61名</td> </tr> <tr> <td>看護補助者対象研修会</td> <td>2回</td> <td>30名</td> <td>4回</td> <td>116名</td> </tr> <tr> <td>BLS研修会</td> <td>2回</td> <td>38名</td> <td>11回</td> <td>300名</td> </tr> </tbody> </table> <p>10 院内感染防止対策の確立</p> <p>○院内感染防止マニュアルの整備・周知</p> <ul style="list-style-type: none"> マニュアルを見直し改定。紙媒体のファイルを差替え、さらに電子版をグループウェア内の電子版を更新した。 <p>【改定内容】</p> <p>使用後器具の処理、廃棄物区分と処理手順、疥癬感染対策マニュアル、感染症法に基づく医師の届出</p> <p>【感染管理教育の実施状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新入転入職員研修</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>全体研修会</td> <td>3回：延546名 ①アウトブレイク事例からの学び：331名 ②サージカルマスクの使い方：163名 ③ノロウイルス・インフルエンザ：52名</td> <td>4回：延652名 ①標準予防策：331名 ②疥癬感染対策：160名 ③ノロウイルス・インフルエンザ：39名 ④疥癬感染対策：122名</td> </tr> <tr> <td>Eラーニング</td> <td>看護師、看護補助職員全員</td> <td>看護師、看護補助職員全員</td> </tr> <tr> <td>グループウェアを利用した情報発信</td> <td>NEWSレター：2通 地域の感染症流行情報：毎週1回 インフルエンザ流行状況：流行期間中毎日（58日）</td> <td>NEWSレター：3通、地域の感染症流行情報：毎週1回 インフルエンザ流行状況：流行期間中毎日（62日）</td> </tr> </tbody> </table>				区分	26年度	27年度	28年度	インシデント	975件	1233件	1381件	アクシデント	9件	8件	11件	計	984件	1241件	1392件	研修名	H27		H28		実施数	参加数	実施数	参加数	医療安全全職員研修会	2回	626名	2回	662名	医療機器学習会	2回	10名	4回	49名	薬剤学習会	2回	12名	4回	85名	検査学習会	1回	6名	2回	51名	臨時研修会	3回	17名	3回	43名	新人研修	8回	76名	7回	61名	看護補助者対象研修会	2回	30名	4回	116名	BLS研修会	2回	38名	11回	300名		27年度	28年度	新入転入職員研修	4回	4回	全体研修会	3回：延546名 ①アウトブレイク事例からの学び：331名 ②サージカルマスクの使い方：163名 ③ノロウイルス・インフルエンザ：52名	4回：延652名 ①標準予防策：331名 ②疥癬感染対策：160名 ③ノロウイルス・インフルエンザ：39名 ④疥癬感染対策：122名	Eラーニング	看護師、看護補助職員全員	看護師、看護補助職員全員	グループウェアを利用した情報発信	NEWSレター：2通 地域の感染症流行情報：毎週1回 インフルエンザ流行状況：流行期間中毎日（58日）	NEWSレター：3通、地域の感染症流行情報：毎週1回 インフルエンザ流行状況：流行期間中毎日（62日）
区分	26年度	27年度	28年度																																																																																
インシデント	975件	1233件	1381件																																																																																
アクシデント	9件	8件	11件																																																																																
計	984件	1241件	1392件																																																																																
研修名	H27		H28																																																																																
	実施数	参加数	実施数	参加数																																																																															
医療安全全職員研修会	2回	626名	2回	662名																																																																															
医療機器学習会	2回	10名	4回	49名																																																																															
薬剤学習会	2回	12名	4回	85名																																																																															
検査学習会	1回	6名	2回	51名																																																																															
臨時研修会	3回	17名	3回	43名																																																																															
新人研修	8回	76名	7回	61名																																																																															
看護補助者対象研修会	2回	30名	4回	116名																																																																															
BLS研修会	2回	38名	11回	300名																																																																															
	27年度	28年度																																																																																	
新入転入職員研修	4回	4回																																																																																	
全体研修会	3回：延546名 ①アウトブレイク事例からの学び：331名 ②サージカルマスクの使い方：163名 ③ノロウイルス・インフルエンザ：52名	4回：延652名 ①標準予防策：331名 ②疥癬感染対策：160名 ③ノロウイルス・インフルエンザ：39名 ④疥癬感染対策：122名																																																																																	
Eラーニング	看護師、看護補助職員全員	看護師、看護補助職員全員																																																																																	
グループウェアを利用した情報発信	NEWSレター：2通 地域の感染症流行情報：毎週1回 インフルエンザ流行状況：流行期間中毎日（58日）	NEWSレター：3通、地域の感染症流行情報：毎週1回 インフルエンザ流行状況：流行期間中毎日（62日）																																																																																	

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己評価
<p>感染防止マニュアルは感染症法改正、厚生労働省課長通知に併せて適時改訂し、院内へ周知を図る。</p> <p>感染防止委員会及び感染症対策部、ICTが中心となり、全職員を対象とした研修会を毎月開催し、職員の年2回以上の参加を継続する。</p> <p>さらに、感染症内科医を中心に、毎日細菌検査ミーティングを開催し、適切な抗菌薬使用を推進するとともに、耐性菌発生時には、早期の感染症防止対策を実施する。</p> <p>平成26年度に導入した「感染制御支援システム」を駆使して、感染状況、治療状況、臨床経過などを多面的かつ迅速に把握し、効果的な感染制御を継続する。</p>	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MRSA の新規検出については、平成 27 年度 14 名から平成 28 年度 7 名と 50%減少した。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・週 1 回、ICT による病棟ラウンドを実施するとともに、改善結果を感染防止委員会で報告した。 ・感染制御支援システムを活用し、接触患者リストの作成や菌検出推移の把握を行うとともに、カテーテルなどのデバイス数をカウントし、各部署における感染率の経過を把握した。 ・感染症専門医による抗菌薬の適正指導や、手指消毒剤使用量が増加したものの、新規 MRSA 検出数が 3.8%増加した。 ・感染防止研修会を積極的に開催し、多数の参加を得た。 <p>H27:29 回 延べ 3,011 人 → H28:25 回 延べ 3,575 人</p>					<p>○ラウンドによる感染対策実施状況のチェック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ICT ラウンド：手指衛生の実施状況、手袋使用状況、サージカルマスク使用状況、エプロン使用状況の確認 2. 月 1 部署ラウンド：病棟・外来・透析センター・手術室の感染対策環境チェック 3. 感染経路別予防策実施状況の確認 4. 感染対策地域連携加算算定要件である相互チェック対応ラウンド 5. その他：手指衛生環境整備の確認、感染性廃棄物状況の確認、流行シーズン前の確認 <p>○院内感染発生に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全室個室化のメリットにより、外部機関に報告を要する院内感染事案、アウトブレイク事案はなかった。 ・単発の院内感染事例発生時は、4M4E分析（具体的要因4点と要因の対策4点の視点で考える分析手法）によって事例を振り返り改善策をあげ、再発防止に取り組んだ。 		
◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果	

県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

1-1-2 患者・住民サービスの向上

岐阜県総合医療センター		岐阜県立多治見病院		岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																																																		
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																																																																	
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 																																																																																																																																																	
<p>項目番号 02</p> <p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 待ち時間の実態調査（患者満足度調査「年1回」及びシステムによる調査「年4回」）を実施し、患者からの意見・要望に対して、各部署において改善計画を立案し、積極的に取り組むことで平均待ち時間を短縮できるように検討を行う。 診察の待ち時間の短縮を図るため、各診療科の診察枠の見直しや診療単価等の分析による患者構成を把握することで病状等に即した医療機能の分化を推進する。 他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。 検査の効率的な実施や検査機器稼働率向上等により、検査待ち時間の改善に向けた検討を行う。 中央採血室における採血待ちや心電図、超音波の待ち時間短縮に努める。 臨床検査科での各種検査の精度管理を推し進め、業務や機器運用の見直しにより結果報告までの時間短縮を図る。 継続して地域医療機関との外来予約受付体制の改善を行い、外来予約システムの構築を検討する。 継続して手術枠の効率的な運用を検討し実施することで、手術件数を増大させ手術待ち時間の改善につなげる。 	<p>IV</p> <p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ＜外来部門＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって、院内滞在時間の縮減を図る取組を継続した。 <table border="1"> <tr> <td>検査が必要な患者に対しては検査を先に実施</td> </tr> <tr> <td>看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施</td> </tr> <tr> <td>入院患者に対する説明の一元化</td> </tr> <tr> <td>病診連携による紹介患者については、診察予約時間 30 分以内の診察を徹底</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 待ち時間の有効活用に向けた取組を継続した。 <table border="1"> <tr> <td>待ち時間に待合場所を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを実施</td> </tr> <tr> <td>診療科に即したパンフレットや図書を配置</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査等による待ち時間の把握患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回実施し、状況の把握に努めた。調査の結果、外来患者数の減少に伴い平均待ち時間が微減し、30分以内の待ち時間患者の割合が9.9%増加した。 <p>○患者満足度調査による平均待ち時間</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td></td> <td>24</td> <td>28</td> <td>27</td> </tr> </table> <p>※予約時刻と実際の診療開始時刻までの時間</p> <p>○システムによる待ち時間別患者構成率</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">単位：%</td> </tr> <tr> <td>年月／待ち時間</td> <td>～30分</td> <td>30分～2時間</td> <td>2時間～</td> </tr> <tr> <td>H27.1</td> <td>35.0</td> <td>56.4</td> <td>8.6</td> </tr> <tr> <td>H28.1</td> <td>41.2</td> <td>49.2</td> <td>9.6</td> </tr> <tr> <td>H29.1</td> <td>51.1</td> <td>43.0</td> <td>5.9</td> </tr> </table> <p>＜臨床検査部門＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 超音波検査（生理検査部門）技師を増員することで、待ち時間の短縮を図った。 H27：8.0人 → H28：9.5人 診療科からの要望に対応し、8月から乳腺エコー室を稼働し、業務の集約と枠の増設を図った。 超音波検査件数については増加したものの、全体として待ち時間の短縮が認められ、90分超の待ち時間の減少がみられた。 待ち時間の短縮を図るため、採血開始時間を8時とする取組を継続するとともに、1 	検査が必要な患者に対しては検査を先に実施	看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施	入院患者に対する説明の一元化	病診連携による紹介患者については、診察予約時間 30 分以内の診察を徹底	待ち時間に待合場所を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを実施	診療科に即したパンフレットや図書を配置		H26	H27	H28		24	28	27		単位：%			年月／待ち時間	～30分	30分～2時間	2時間～	H27.1	35.0	56.4	8.6	H28.1	41.2	49.2	9.6	H29.1	51.1	43.0	5.9	<p>項目番号 02</p> <p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者待ち時間調査を実施し、現状分析による改善策を立案する。 実施内容：中央放射線及び生理検査の待ち時間調査 連携予約検査枠の拡大を行うとともに、中央放射線部職員も開業医の訪問活動に同行し、より効果的な広報を行い、高度医療機器利用率の向上を図る。 各診療科の状況を勘案し、連携予約が取りやすい予約枠設定を検討する。 開業医への訪問活動範囲を広げ、具体的なニーズを把握し患者へのサービス増進に取り組む。 当院と開業医との連携体制、役割分担等を患者へ分かりやすく広報する。 よろず相談・かかりつけ医紹介センターを積極的に活用しながら逆紹介を推進する。 生理検査の待ち時間改善策を検討する。 手術待ちの改善へ向けて、手術室の運用時間などについて検討する。 <p>2 院内環境の快適性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内の施設や設備について、新中央診療棟の建設を見据えた維持管理に努める。特に老朽化した空調配管については改修を行い、快適な院内環境を推進する。 意見箱などに寄せられた施設に関する意見については、その内容を精査した上で対応する。 治療効果を高め、より快適な入院生活を送ることができるよう、より良い食事提供を目指し継続して献立・食材の見直しを行う。 化学療法の副作用等により喫食量の低下した患者への個別の聞き取りを実施し喫食量増加や、栄養相談を含めた栄養管理を継続的に行っていく。 栄養不良が疑われる患者に対し、NST介入により早期改善を目指す。 <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療情報に関する相談について、相談しやすい体制の充実を図るため、地域医療連携センター内の医療連携担当と医療相談担当が、定期的に情報交換会を 	<p>IV</p> <p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央放射線及び生理検査について9～12月の4ヶ月間、待ち時間調査を実施した。患者の集中する時間帯に待ち時間が発生していたため、機器の効率的な運用に努めた。患者満足度調査においても同様に患者集中による問題点はあるものの、前回調査時と比較しても概ね良好な結果が得られた。今後も継続的に待ち時間の苦痛軽減に努めたい。 非常勤の診療放射線技師を医療連携センターに配置し、連携業務や関係医療機関への訪問活動を強化した結果、高度医療機器利用件数が増加し、住民サービスの向上につながった。 <p>【平均待ち時間】 単位：分</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td></td> <td>22</td> <td>20</td> </tr> </table> <p>※待ち時間は病院全体の時間</p> <p>【CT、MRI検査件数】 単位：件</p> <table border="1"> <tr> <td>区分\年度</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>CT件数</td> <td>29,355</td> <td>29,516</td> </tr> <tr> <td>MRI件数</td> <td>9,862</td> <td>9,833</td> </tr> </table> <p>2 院内環境の快適性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 治療効果を高めるため、食事制限などのある患者の食事相談や指導をした。また、喫食量の低下した患者や低栄養の患者に対し、NSTが早期に介入し、多職種協同で栄養に対する知識を高める教育、献立や分量見直しを行った。 老朽化した館内空調設備等を更新し、院内環境の快適性を向上させた。また院内患者向けの案内冊子「お役立ちブック」の作成や院内床面の誘導ライン全面リニューアル等により診察や検査に伴う患者へのストレス軽減に努めた。 <p>【喫食量の低下・低栄養患者への取り組み】 単位：件</p> <table border="1"> <tr> <td>項目\年度</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>栄養指導</td> <td>4,552</td> <td>5,164</td> </tr> <tr> <td>栄養管理</td> <td>2,017</td> <td>1,044</td> </tr> <tr> <td>NST介入</td> <td>433</td> <td>430</td> </tr> </table> <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者やその家族からの医療費支払いに関する各種福祉制度の活用や転院相談等の医療情報に関する医療相談の他に、受診診療科や病気などの様々な相談に対し、よろず相談・かかりつけ医紹介センターなどを活用した丁寧な相談体制で対応ができた。ま 		H27	H28		22	20	区分\年度	H27	H28	CT件数	29,355	29,516	MRI件数	9,862	9,833	項目\年度	H27	H28	栄養指導	4,552	5,164	栄養管理	2,017	1,044	NST介入	433	430	<p>項目番号 02</p> <p>1 待ち時間の改善等</p> <p>診療時間の弾力的運用など待ち時間の短縮や待ち時間の過ごし方について、待ち時間等の実態を把握し、総合的な待ち時間対策に取り組む。</p> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者からの改善要求については、可能な限り改善に努めるとともに、全室個室化をはじめとする施設の利便性を活用し、患者のプライバシーとアメニティの確保に配慮した快適な院内環境づくりに取り組む。 外来患者に対するスムーズな受診体制を充実する。 食材の直接管理による良質な食事や患者個々の嗜好に合わせた主食・主菜の選択や副食の調理形態の変更に取り組む。 院内コンサート等、患者に安らぎを提供する行事の質の向上を図る。 病院運営に寄与するボランティアの積極的な受入れに取り組む。 総合窓口における各種案内業務の迅速な対応に努める。 清掃業務について、責任を明確にして機動性のある業務委託とすることによって、清潔な院内スペースの実現に努める。 院内売店の飲食物やアメニティグッズ等について患者ニーズを反映させる。 <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <p>○患者サービス向上委員会では、ご意見箱からの意見などを院内の掲示板でフィードバックしているほか、院内環境改善についての要望などを検討し、改善に努めた。</p> <p>○院内ラウンド実施回数：4回 主に院内環境面をチェックするラウンドを実施。</p> <p>【主な改善事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 傘立ての整理、掲示物の点検、除草等の要望、貸出用松葉杖の点検等 ○病院内の清掃だけでなく、病院周辺の清掃も患者サービス向上委員会が主体となって病院周辺の清掃を行った。 第1回 5月25日 17:15～17:45 75名 第2回 9月6日 17:15～17:45 60名 ○院内防犯体制の強化 ・職員への暴力・暴言等対応マニュアルを、下呂警察署監修の下に策定し、緊急時の対応の統一を図った。また、不審者に対する対応についての研修を行った。 ○個別の栄養管理のため、医師の指示により「栄養管理計画書」を作成し、食事内容及び栄養補給量等について、栄養管理指導を行った。入院患者に対して、食事内容についての理解を促すと共に、必要に応じ患者の要望に応えた食事の提供を実施した。 <p>○外来診療待ち時間調査</p> <table border="1"> <tr> <td>待ち時間</td> <td colspan="2">26年度</td> <td colspan="2">27年度</td> <td colspan="2">28年度</td> </tr> <tr> <td>・初診患者</td> <td>人数</td> <td>%</td> <td>人数</td> <td>%</td> <td>人数</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>67</td> <td>81</td> <td>65</td> <td>87</td> <td>45</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>1～30分</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>39</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>31～60分</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>61分以上</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>○外来診療待ち時間調査</p> <table border="1"> <tr> <td>待ち時間</td> <td colspan="2">26年度</td> <td colspan="2">27年度</td> <td colspan="2">28年度</td> </tr> <tr> <td>・再診患者</td> <td>人数</td> <td>%</td> <td>人数</td> <td>%</td> <td>人数</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>228</td> <td>81</td> <td>176</td> <td>76</td> <td>180</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>1～30分</td> <td>47</td> <td>17</td> <td>46</td> <td>20</td> <td>28</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>31～60分</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>61分以上</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table>	待ち時間	26年度		27年度		28年度		・初診患者	人数	%	人数	%	人数	%	なし	67	81	65	87	45	50	1～30分	12	14	9	12	39	43	31～60分	4	5	1	1	5	5	61分以上	0	0	0	0	2	2	待ち時間	26年度		27年度		28年度		・再診患者	人数	%	人数	%	人数	%	なし	228	81	176	76	180	83	1～30分	47	17	46	20	28	13	31～60分	7	2	9	4	7	3	61分以上	0	0	1	0	1	1	<p>III</p>
検査が必要な患者に対しては検査を先に実施																																																																																																																																																						
看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施																																																																																																																																																						
入院患者に対する説明の一元化																																																																																																																																																						
病診連携による紹介患者については、診察予約時間 30 分以内の診察を徹底																																																																																																																																																						
待ち時間に待合場所を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを実施																																																																																																																																																						
診療科に即したパンフレットや図書を配置																																																																																																																																																						
	H26	H27	H28																																																																																																																																																			
	24	28	27																																																																																																																																																			
	単位：%																																																																																																																																																					
年月／待ち時間	～30分	30分～2時間	2時間～																																																																																																																																																			
H27.1	35.0	56.4	8.6																																																																																																																																																			
H28.1	41.2	49.2	9.6																																																																																																																																																			
H29.1	51.1	43.0	5.9																																																																																																																																																			
	H27	H28																																																																																																																																																				
	22	20																																																																																																																																																				
区分\年度	H27	H28																																																																																																																																																				
CT件数	29,355	29,516																																																																																																																																																				
MRI件数	9,862	9,833																																																																																																																																																				
項目\年度	H27	H28																																																																																																																																																				
栄養指導	4,552	5,164																																																																																																																																																				
栄養管理	2,017	1,044																																																																																																																																																				
NST介入	433	430																																																																																																																																																				
待ち時間	26年度		27年度		28年度																																																																																																																																																	
・初診患者	人数	%	人数	%	人数	%																																																																																																																																																
なし	67	81	65	87	45	50																																																																																																																																																
1～30分	12	14	9	12	39	43																																																																																																																																																
31～60分	4	5	1	1	5	5																																																																																																																																																
61分以上	0	0	0	0	2	2																																																																																																																																																
待ち時間	26年度		27年度		28年度																																																																																																																																																	
・再診患者	人数	%	人数	%	人数	%																																																																																																																																																
なし	228	81	176	76	180	83																																																																																																																																																
1～30分	47	17	46	20	28	13																																																																																																																																																
31～60分	7	2	9	4	7	3																																																																																																																																																
61分以上	0	0	1	0	1	1																																																																																																																																																

岐阜県総合医療センター		岐阜県立多治見病院		岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																													
H28年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H28年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H28年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																																												
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 																																																																																																																												
<p>2 院内環境の快適性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者や来院者により快適な環境を提供するため、次期発注工事の内容についても検討を行い、ニーズに合った院内環境の整備に努め、院内施設の案内表示等の改善や病室、待合室、トイレ等を計画的に改修・補修し、快適な院内環境を整備する。 患者ニーズを踏まえ、院内売店の飲食物・アメニティグッズ等の種類・量を充実させる。 治療効果を上げるための栄養管理を充実し、患者の嗜好にも配慮したメニューを拡充するため、患者嗜好調査を実施し、病院給食の改善を図る。 病棟等に設置した「提案箱」に投函された患者からの意見に対して適切な対応を行い、改善・解決に努めるとともに、対応内容等について院内に掲示することで患者へお知らせし、併せて職員へフィードバックする。 地域住民等による院内ボランティアや院内コンサート等により、患者等が安心して快適に利用できる院内環境を提供する。 	<p>ブースの増設を図った。 H27：4ブース → H28：5ブース</p> <p>○超音波検査件数（外来分） H27：19,246件→H28：19,684件（2.3%増）</p> <p>○超音波検査待ち時間の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月／項目</th> <th>総数</th> <th>60分未満</th> <th>～90分</th> <th>90分超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26.4</td> <td>1,955件</td> <td>65.8%</td> <td>24.3%</td> <td>9.9%</td> </tr> <tr> <td>H27.4</td> <td>2,078件</td> <td>72.6%</td> <td>22.2%</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>H28.4</td> <td>2,066件</td> <td>73.9%</td> <td>22.8%</td> <td>3.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p><中央放射線部門></p> <ul style="list-style-type: none"> CT検査での予約枠を検査内容で装置ごとに振り分ける取組や、MRI検査での時間外検査枠を設ける取組を継続した。 <p>○検査件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度／項目</th> <th>CT 外来</th> <th>CT 入院</th> <th>MRI 外来</th> <th>MRI 入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>29,960</td> <td>7,049</td> <td>11,840</td> <td>2,470</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>30,425</td> <td>7,074</td> <td>12,334</td> <td>2,664</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>31,185</td> <td>6,878</td> <td>10,636</td> <td>2,067</td> </tr> </tbody> </table> <p><手術部門></p> <ul style="list-style-type: none"> 手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用や手術機材のキット化により手術待ち時間や手術準備時間の短縮を図る取組を継続した。 <p>○時間内手術室稼働率・総手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率（単位：%）</td> <td>66.8</td> <td>68.7</td> <td>66.8</td> </tr> <tr> <td>件数（単位：件）</td> <td>6,992</td> <td>7,325</td> <td>7,264</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 新生児センターにおけるMRSA感染対策として、入院患者をコントロールすることなく保育器とコットの間隔を1.2m以上あけることができるよう、病棟の面積拡張工事を行った。（病床は40床で変更なし） 患者や来院者に、より快適な環境を提供するため、本館小児科診察室移転跡の改修工事を行い、外来診療科の再配置を行った。 治療効果を上げるため、病名と病態にあった病院給食を提供できるように入院時のチェック体制を強化し、栄養管理の充実を図った。 患者の嗜好に配慮した病院給食とするため、平成28年度嗜好調査を実施するとともに、行事食提供時の意見収集を行いホームページで公表した。 「提案箱」に寄せられた意見に係る回答を院内に掲示するまでの期間を1か月から2週間に短縮した。 	年月／項目	総数	60分未満	～90分	90分超	H26.4	1,955件	65.8%	24.3%	9.9%	H27.4	2,078件	72.6%	22.2%	5.2%	H28.4	2,066件	73.9%	22.8%	3.2%	年度／項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院	H26	29,960	7,049	11,840	2,470	H27	30,425	7,074	12,334	2,664	H28	31,185	6,878	10,636	2,067	項目／年度	H26	H27	H28	稼働率（単位：%）	66.8	68.7	66.8	件数（単位：件）	6,992	7,325	7,264	<p>開催し、相互の情報共有と問題点の洗い出しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者やその家族からの医療に関する様々な相談に対し、よろず相談・かかりつけ医紹介センターを活用して、迅速に対応する。 岐阜県ソーシャルワーカー協会東濃支部研修会（情報交換会）を継続していくとともに、この研修会で得られた情報を患者や家族の医療相談に活用する。 緩和ケア病棟や精神科病棟を担当する相談員に対して、各種研修会の受講を促進し、知識と技能の強化を図りながら、より良いケアの提供を目指すとともに、転退院調整や各種相談業務への対応を強化する。 がん患者サロンを活用し、がん患者及びその家族に対し相談を行う。 <p>4 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者サポート体制カンファレンスを継続して実施し、患者からの要望等を把握・分析し、患者の権利の保障に努める。 患者図書室について、蔵書の増冊、近隣の図書館との連携推進等により充実を図る。 <p>5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテ内に新設したIC（インフォームドコンセント）シートを活用し、インフォームドコンセントの確実な実施と記録を院内職員へ周知徹底していく。 インフォームドコンセントにおける同意書と説明書の見直し及び電子カルテへの対応を進める。 セカンドオピニオンについて、院内や病院のホームページに掲示し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として一元的に対応する。また、がんの種類別に医師が対応し、相談に応じる。 <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する</p>	<p>た、人員配置の面でも社会福祉士を3名（常勤職員2名、非常勤職員1名）増員し、各種相談業務に柔軟に対応できる体制を整えた。</p> <p>【よろず相談・かかりつけ医紹介件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かかりつけ医への紹介</td> <td>251</td> <td>322</td> </tr> <tr> <td>よろず相談</td> <td>1,480</td> <td>1,129</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療相談件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>12,303</td> <td>14,597</td> </tr> <tr> <td>がん患者サロン（ほつとサロン）相談件数</td> <td>99</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>【カルテ開示請求件数・開示件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>64</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>62</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者サポート体制カンファレンスを毎週1回開催し、医療相談、クレーム事例などから患者の意見・要望を把握し、医療安全活動と合わせ、患者の権利の保障について検討した。また、インシデント事例から、今後フォローが必要になりそうな患者について情報共有を行った。 患者図書室へ患者や職員から多くの図書の寄贈を受け、蔵書数が増加し、内容も充実した。 <p>【患者図書室利用実績・蔵書数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数（単位：人）</td> <td>10,552</td> <td>9,830</td> </tr> <tr> <td>稼働日数（単位：日）</td> <td>242</td> <td>242</td> </tr> <tr> <td>1日平均（単位：日）</td> <td>43.6</td> <td>40.6</td> </tr> <tr> <td>蔵書数（冊）</td> <td>2,522</td> <td>2,847</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテ内のIC（インフォームドコンセント）シートへの活用を徹底し、ICにおける同意書、診療科個別の説明書の見直しを行った。 セカンドオピニオンについては、受診希望者に対し、医療連携室が窓口となり一元的に対応し、昨年度に引き続き迅速な予約体制を維持した。 <p>【セカンドオピニオン実施件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>20</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>70</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する</p>	項目\年度	H27	H28	かかりつけ医への紹介	251	322	よろず相談	1,480	1,129	項目\年度	H27	H28	医療相談件数	12,303	14,597	がん患者サロン（ほつとサロン）相談件数	99	55	項目\年度	H27	H28	請求件数	64	57	開示件数	62	42	区分\年度	H27	H28	利用者数（単位：人）	10,552	9,830	稼働日数（単位：日）	242	242	1日平均（単位：日）	43.6	40.6	蔵書数（冊）	2,522	2,847	区分\年度	H27	H28	外来受入	20	6	他院紹介	70	61	<p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <p>苦情等へ迅速な対応ができる相談受付窓口の更なる活用を図るとともに、接遇研修会等を通じて職員の接遇意識の向上に努める。</p> <p>また、検査や薬の相談窓口を開設（医師説明の補助）するほか、放射線被ばくの専門知識を有した被ばく相談員を配置する。</p> <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <p>○医療相談室には、社会福祉士2名、看護師3名の計5名の職員が常駐しており、患者・家族からの医療情報に関する相談・苦情について対応した。問題事象への発展が懸念されるものは情報を速やかに幹部へ報告することを徹底し、組織として初期段階での対応が行えるように取り組んだ。</p> <p>【相談件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療福祉相談</td> <td>1,649件</td> <td>2,654件</td> <td>4,439件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○接遇マナー5原則（1表情、2態度、3挨拶、4身だしなみ、5言葉遣い）をもとに、強化月間を設けポスターの掲示や呼びかけを行った後アンケートを行い達成度の評価をした。（看護部2回/年、全体1回/年）</p> <p>接遇マナーチェックシートを、H28.10月に、委託職員を含む458名に配布97%の回収率であった。また事務職員1名が「接遇トレーナー養成研修会」（11/9-11）を受講し、接遇トレーニングの基本を学習した。</p> <p>【マナーチェック結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">「概ねできている」以上の回答割合</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>態度・表情等</td> <td>93%</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td>身だしなみ</td> <td>92%</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>電話対応</td> <td>84%</td> <td>84%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※設問毎の平均割合</p> <p>4 患者中心の医療の提供</p> <p>地域で信頼される開かれた医療機関となることを目指し、患者の権利（安全・平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できる等）の保証と職員への周知、医療従事者としての倫</p>	項目	26年度	27年度	28年度	医療福祉相談	1,649件	2,654件	4,439件	項目	「概ねできている」以上の回答割合		H27	H28	態度・表情等	93%	91%	身だしなみ	92%	95%	電話対応	84%	84%
年月／項目	総数	60分未満	～90分	90分超																																																																																																																													
H26.4	1,955件	65.8%	24.3%	9.9%																																																																																																																													
H27.4	2,078件	72.6%	22.2%	5.2%																																																																																																																													
H28.4	2,066件	73.9%	22.8%	3.2%																																																																																																																													
年度／項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院																																																																																																																													
H26	29,960	7,049	11,840	2,470																																																																																																																													
H27	30,425	7,074	12,334	2,664																																																																																																																													
H28	31,185	6,878	10,636	2,067																																																																																																																													
項目／年度	H26	H27	H28																																																																																																																														
稼働率（単位：%）	66.8	68.7	66.8																																																																																																																														
件数（単位：件）	6,992	7,325	7,264																																																																																																																														
項目\年度	H27	H28																																																																																																																															
かかりつけ医への紹介	251	322																																																																																																																															
よろず相談	1,480	1,129																																																																																																																															
項目\年度	H27	H28																																																																																																																															
医療相談件数	12,303	14,597																																																																																																																															
がん患者サロン（ほつとサロン）相談件数	99	55																																																																																																																															
項目\年度	H27	H28																																																																																																																															
請求件数	64	57																																																																																																																															
開示件数	62	42																																																																																																																															
区分\年度	H27	H28																																																																																																																															
利用者数（単位：人）	10,552	9,830																																																																																																																															
稼働日数（単位：日）	242	242																																																																																																																															
1日平均（単位：日）	43.6	40.6																																																																																																																															
蔵書数（冊）	2,522	2,847																																																																																																																															
区分\年度	H27	H28																																																																																																																															
外来受入	20	6																																																																																																																															
他院紹介	70	61																																																																																																																															
項目	26年度	27年度	28年度																																																																																																																														
医療福祉相談	1,649件	2,654件	4,439件																																																																																																																														
項目	「概ねできている」以上の回答割合																																																																																																																																
	H27	H28																																																																																																																															
態度・表情等	93%	91%																																																																																																																															
身だしなみ	92%	95%																																																																																																																															
電話対応	84%	84%																																																																																																																															

岐阜県総合医療センター		岐阜県立多治見病院		岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																												
H28年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H28年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H28年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																											
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 																																																																																																											
<p>3 医療に関する相談体制の充実 総合相談センターに相談窓口を置き、診療内容、在宅支援、苦情、就労支援などあらゆる相談に迅速に対応できるように関係部署と連携し、相談機能を強化する。 また、毎週、カンファレンスを開催し、問題事項についてスタッフ間で協議する。 意見、苦情に対して積極的に対応し、内容を公表していく。 院内の外国語表示を増やすとともに、各国語に対応できる通訳体制を充実させる。 特に、がん相談支援センター機能を充実させ、がん患者及びその家族の在宅医療支援を行い、がん相談件数の増加を図る。</p>	<p>3 医療に関する相談体制の充実 ・毎週木曜日にカンファレンスを開催し、医療相談に係る問題事項についての協議を行った。 ・外国人の受診を支援するため、県国際交流センターに医療通訳ボランティアの派遣を依頼するとともに、平成28年度から医療通訳が可能な職員を新たに雇用した。</p> <p>○医療相談件数 単位：件</p> <table border="1"> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th></tr> <tr><td>4,033</td><td>4,687</td><td>4,914</td></tr> </table> <p>○カルテ開示請求・開示件数 単位：件</p> <table border="1"> <tr><th>項目/年度</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th></tr> <tr><td>請求件数</td><td>123</td><td>133</td><td>172</td></tr> <tr><td>開示件数</td><td>116</td><td>126</td><td>166</td></tr> </table> <p>○カンファレンスで協議した事項及び件数 単位：件</p> <table border="1"> <tr><th>項目/年度</th><th>H27</th><th>H28</th></tr> <tr><td>病院の環境</td><td>5</td><td>3</td></tr> <tr><td>患者等からの相談</td><td>32</td><td>28</td></tr> <tr><td>患者相談対応力向上のための事例検討</td><td>7</td><td>17</td></tr> <tr><td>患者等からの苦情</td><td>40</td><td>39</td></tr> <tr><td>その他</td><td>22</td><td>12</td></tr> </table> <p>○医療通訳病院職員対応件数 単位：件</p> <table border="1"> <tr><th>項目/年度</th><th>H28</th></tr> <tr><td>中国語</td><td>134</td></tr> <tr><td>英語</td><td>224</td></tr> <tr><td>スペイン語、他</td><td>184</td></tr> <tr><td>合計</td><td>542</td></tr> </table> <p>○医療通訳ボランティア派遣件数 単位：件</p> <table border="1"> <tr><th>項目/年度</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th></tr> <tr><td>ポルトガル語</td><td>148</td><td>258</td><td>184</td></tr> <tr><td>中国語</td><td>41</td><td>23</td><td>0</td></tr> <tr><td>タガログ語</td><td>34</td><td>50</td><td>28</td></tr> <tr><td>合計</td><td>223</td><td>331</td><td>212</td></tr> </table>	H26	H27	H28	4,033	4,687	4,914	項目/年度	H26	H27	H28	請求件数	123	133	172	開示件数	116	126	166	項目/年度	H27	H28	病院の環境	5	3	患者等からの相談	32	28	患者相談対応力向上のための事例検討	7	17	患者等からの苦情	40	39	その他	22	12	項目/年度	H28	中国語	134	英語	224	スペイン語、他	184	合計	542	項目/年度	H26	H27	H28	ポルトガル語	148	258	184	中国語	41	23	0	タガログ語	34	50	28	合計	223	331	212	<p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映 ・地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、新中央診療棟の整備、医療をめぐる状況と病院の方向性、血液浄化センター等の整備、がん放射線治療装置拡充整備について意見交換を行った。</p> <p>○患者サービスに努めた結果、日本病院会「QIプロジェクト」での患者満足度調査では、全国QIプロジェクト参加病院の中では高い満足度を得ることができた。</p> <p>【満足度調査の比較】 単位：%</p> <table border="1"> <tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2"></th><th colspan="2">満足度</th></tr> <tr><th>H27</th><th>H28</th></tr> <tr><td rowspan="2">入院</td><td>当院</td><td>95.6</td><td>98.1</td></tr> <tr><td>QIプロジェクト参加病院(平均値)</td><td>89.3</td><td>89.1</td></tr> <tr><td rowspan="2">外来</td><td>当院</td><td>87.2</td><td>87.7</td></tr> <tr><td>QIプロジェクト参加病院(平均値)</td><td>81.7</td><td>83.0</td></tr> </table> <p>※ QIプロジェクトデータを全て引用</p>			満足度		H27	H28	入院	当院	95.6	98.1	QIプロジェクト参加病院(平均値)	89.3	89.1	外来	当院	87.2	87.7	QIプロジェクト参加病院(平均値)	81.7	83.0	<p>理観の確立に努める。 また、ピンクリボンキャンペーンの趣旨に賛同し、働く女性に対する休日の検診体制の充実を図る。</p> <p>5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 患者自らが選択し納得できる医療を提供するため、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンを推進する。</p> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映 患者や周辺住民を対象とした病院満足度調査を実施するとともに、地域の代表者等との意見交流を行うなどその結果を病院運営に反映させる。</p>	<p>○ピンクリボンキャンペーン(乳がん検診の早期受診推進運動)への賛同 マンモグラフィー(乳房X線診断装置)乳がん無料検診を実施(H28/10/16(日))。平成23年度から経費の一部は寄付金を活用しており、検査料は無料(定員30名)とし、28年度は27名が受診した。</p> <p>5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 ・患者・その家族には、インフォームドコンセントの徹底を図り、規程に基づく同意を得たうえで治療に取り組んだ。 ・入院時の入院治療計画の提示 ・手術や検査の事前説明</p> <p>【セカンドオピニオン実施件数】</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>28年度</th></tr> <tr><td>外来受入</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>他院紹介</td><td>3件</td><td>3件</td><td>1件</td></tr> </table> <p>※セカンドオピニオン外来は標榜しておらず、一般外来として受け入れ。</p> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映 ・各種アンケートの実施など様々な機会を捉え、患者等から意見を聴取し、これを基に対応策を取った。 ・患者満足度調査(調査期間1ヶ月、H28.11実施)退院時アンケート調査を1回実施。 ・対象患者数：退院88名、回答者86名(回収率98%) ・施設・接遇・診療・サービスに対する説明など計4項目。</p> <table border="1"> <tr><th>アンケート項目</th><th>「良い」以上の評価割合</th></tr> <tr><td>施設面</td><td>93%</td></tr> <tr><td>接遇面</td><td>92%</td></tr> <tr><td>診療面</td><td>92%</td></tr> <tr><td>サービス面</td><td>88%</td></tr> </table> <p>○外来患者・健診受診者アンケート(調査期間1週間、H28.12実施) ・回答者：414名 ・通院手段、病院運営(施設)、病院満足度など現状で良いとする意見が過半であったが、公共交通機関(バス)の充実を望む意見が少なからずあった。</p> <p>○院内に設置してある「ご意見箱」に投函された意見について、院内の掲示板でフィードバックするなど、患者サービス向上委員会が中心になり改善に努めた。 ・御礼・感謝9件、苦情18件、要望12件、計39件</p> <p>○病院周辺道路の整備要望 来院者の安全確保を図るため、病院周辺道路の整備を国土交通省(高山国道事務所)や下呂市に要望し、国道41号小川交差点の改良及び案内標識の設置、舗装の補修等を実施してもらった。 ○地域住民との交流 ・「看護の日」等を活用し、患者やその家族・外来受診者を対象に健康チェック・健康相談を行い地</p>	項目	26年度	27年度	28年度	外来受入	—	—	—	他院紹介	3件	3件	1件	アンケート項目	「良い」以上の評価割合	施設面	93%	接遇面	92%	診療面	92%	サービス面	88%
H26	H27	H28																																																																																																														
4,033	4,687	4,914																																																																																																														
項目/年度	H26	H27	H28																																																																																																													
請求件数	123	133	172																																																																																																													
開示件数	116	126	166																																																																																																													
項目/年度	H27	H28																																																																																																														
病院の環境	5	3																																																																																																														
患者等からの相談	32	28																																																																																																														
患者相談対応力向上のための事例検討	7	17																																																																																																														
患者等からの苦情	40	39																																																																																																														
その他	22	12																																																																																																														
項目/年度	H28																																																																																																															
中国語	134																																																																																																															
英語	224																																																																																																															
スペイン語、他	184																																																																																																															
合計	542																																																																																																															
項目/年度	H26	H27	H28																																																																																																													
ポルトガル語	148	258	184																																																																																																													
中国語	41	23	0																																																																																																													
タガログ語	34	50	28																																																																																																													
合計	223	331	212																																																																																																													
		満足度																																																																																																														
		H27	H28																																																																																																													
入院	当院	95.6	98.1																																																																																																													
	QIプロジェクト参加病院(平均値)	89.3	89.1																																																																																																													
外来	当院	87.2	87.7																																																																																																													
	QIプロジェクト参加病院(平均値)	81.7	83.0																																																																																																													
項目	26年度	27年度	28年度																																																																																																													
外来受入	—	—	—																																																																																																													
他院紹介	3件	3件	1件																																																																																																													
アンケート項目	「良い」以上の評価割合																																																																																																															
施設面	93%																																																																																																															
接遇面	92%																																																																																																															
診療面	92%																																																																																																															
サービス面	88%																																																																																																															
<p>4 患者中心の医療の提供 当センターが掲げる「患者さんの権利と責務」(「平等に安全で良質な医療を受ける権利」、「十分な説明と助言のもとに患者自身の医療を決定する権利」、「セカンドオピニオンを受ける権利」、「個人のプライバシーが守られる権利」、「医療従事者と協力して医療に参加する責務」)を推進し、県民に信頼され、患者本位の安全で良質な全人的医療を提供する。また、これらの考えを院内・WEBページに掲示し情報発信を行う。</p> <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 治療にあたって必要な情報を患者が理解できる言葉で提供、説明し、十分な助言のもとに自分自身</p>	<p>4 患者中心の医療の提供 ・患者の権利や個人情報保護に関する方針をロビーやホームページに掲示した。 ・患者や家族からの請求による個人情報の開示を行った。</p> <p>○個人情報開示件数 単位：件</p> <table border="1"> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th></tr> <tr><td>116</td><td>126</td><td>166</td></tr> </table>	H26	H27	H28	116	126	166	<p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 ・他病院のセカンドオピニオンを受けやすい環境を整備し、相談件数の増加を図った。</p>																																																																																																								
H26	H27	H28																																																																																																														
116	126	166																																																																																																														

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院												
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価											
	・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●)	自己評価		・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●)	自己評価		・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●)	自己評価										
<p>の医療を決定できるようにインフォームド・コンセントを徹底させる。治療や検査を受けるにあたり、より良い判断をするために、他病院のセカンドオピニオンを受けやすい環境を整備し、相談件数の増加を図る。</p> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映 運営の透明性を図り、患者のみならず地域住民からも信頼が得られる病院とするため、病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する満足度調査を実施し、運営・管理に反映させるものとする。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>46</td> <td>59</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table> <p>○セカンドオピニオン実施件数 単位：件</p> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映 ・岐阜県総合医療センター運営協議会を2回開催し、地域の代表者等と意見交換を実施した。 ・平成28年10月に病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する患者満足度調査を実施し、その結果をホームページで公表するとともに、身だしなみチェックやあいさつの啓発等具体的な取組を実施した。</p>	項目/年度	H26	H27	H28	外来受入	22	23	26	他院紹介	46	59	71					<p>域の人々との交流に努めた28年度2回実施(利用者。193名)</p> <ul style="list-style-type: none"> 下呂温泉祭り行事協力 「龍神火祭り」8/1-3 「花火」「いで湯卓球大会」等救護班11名 病院運営協議会(実施日 11/30) 地域住民の代表者に参集いただき、病院の財務状況や取り組みを紹介し、病院の今後のあり方等について意見交換を行った。
項目/年度	H26	H27	H28															
外来受入	22	23	26															
他院紹介	46	59	71															
◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果											

県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

1-1-3 診療体制の充実

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																															
H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H28 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																														
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価																													
<p>項目番号 03</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>地域の医療機関、福祉施設をつなぐ架け橋として、患者やその家族が安心して医療が受けられる地域に開かれた「地域医療支援病院」としての機能を果たす。そのため、「病診連携部」、「連携バス部」、「退院サポート部」、「入退院管理室」、「なんでも相談室」の機能をさらに充実させ、患者動向や医療需要も把握し、診療体制の整備・充実を図る。</p> <p>また、時間外にも病診連携部での診療予約を継続し、患者や地域医療機関の便宜を図る。</p> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <p>高度な専門性を有する医師等医療従事者の外部からの登用にあたり、その専門性に即した処遇が可能となる人事給与制度の更なる活用を図る。</p> <p>また、定年退職者の再雇用制度を活用し、定年を迎えた職員について引き続き質の高い医療の提供に寄与する医師等医療従事者の雇用の充実を図る。</p>	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者動向や医療需要の変化に対応した組織改編等に積極的に取り組んだことにより、患者に対してよりきめ細やかなサービスを提供することができた。 <p>○組織・診療科等の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営企画課「物品調達担当」及び「物品管理担当」の新設（経営企画課「用度担当」の分割） 「管財課」の新設 医事課「相談室」及び「相談担当」の新設 病理診断科「病理細胞診検査担当」の新設 小児医療センター「小児感染症内科」の新設 がん医療センター「緩和ケアセンター」の新設（「緩和ケアチーム」のセンター化） 「重心施設運営室」及び「重心施設運営担当」の新設 中央放射線部「放射線第五担当」の新設 地域医療連携センター部「退院サポート部」の新設（「退院調整室」と「自宅退院・サポートセンター部」との統合） 「小児麻酔科」・「産科麻酔科」の新設 <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 年俸制による雇用制度を活用し、高度な専門性を有する医師を引き続き登用した。 年俸制医師 H27: 7人 → H28: 7人 非常勤職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医療従事者を再雇用し、更なる充実を図った。 看護師 H27: 4人 → H28: 3人 診療放射線技師 H27: 3人 → H28: 3人 臨床検査技師 H27: 1人 → H28: 2人 薬剤師 H27: 1人 → H28: 2人 	III	<p>項目番号 03</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療連携センターと医事課が中心となり、院内各部門と連携しながら、患者動向や地域の医療機関の状況把握・データ分析、地域連携クリニカルパスの運用、入院初期段階からの転院・退院調整等の充実に努める。 近隣病院の診療体制を把握し、効率的な病病連携を推進する。 急性期病院としての役割を担うため、手術室の診療体制の検討を行う。 医療環境や患者のニーズに応じた質の高い診療体制の充実を図るために、公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価(3rdG:ver.1.1)の受審をし、認定の更新を行う。 <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 人事給与制度や再雇用制度等を基に、必要な職員の確保に努める。 定年を迎えた職員のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医療従事者の再雇用を充実する。 	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療連携センターが中心となり、開業医への訪問活動、地域医療連携推進協議会、可児・東濃地域病病連携推進会議、地域連携クリニカルパス合同委員会、健康づくり講座等を通じて、医療ニーズを聴取し、院内関係部門と情報を共有するとともに連携予約枠の拡大、地域連携パスの運用方法の検討等を行い診療体制の充実を図った。 医療環境や患者のニーズに応じた質の高い診療体制の充実を図るため公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価(3rdG:ver.1.1)を受審し、認定の更新を行った。 <p>【連携予約状況】 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整形外科</td> <td>1,019</td> <td>1,217</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>871</td> <td>880</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>1,738</td> <td>1,675</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9,604</td> <td>10,028</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,232</td> <td>13,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に拡充した再雇用制度を活用し、定年を迎えた高い専門性を有する職員を再雇用し、安定的な診療体制の充実を図った。また、診療報酬改定等に対応し、実務経験のある社会福祉士3名(常勤職員2名、非常勤職員1名)と臨床心理士1名を採用した。 	区分\年度	H27	H28	整形外科	1,019	1,217	神経内科	871	880	消化器内科	1,738	1,675	その他	9,604	10,028	合計	13,232	13,800	III	<p>項目番号 03</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>病診連携機能を強化するとともに、患者の動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備及び充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児科及び産婦人科の維持、また、患者の平均年齢が高齢化していることから、非常勤医師対応の診療科(泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科等)の充実を図る。 生理検査(聴力検査・超音波検査)等検査業務を拡充する。 上肢機能を再建する手外科のリハビリテーション、異常な筋収縮に伴う症状を軽減するボトックス治療後のリハビリテーション、がん患者の緩和リハビリテーションの充実を図る。 <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <p>高度な専門性を有する職員を外部から登用するにあたり、その専門性に適した処遇を行う。さらに、高度な専門性を有する職員が定年を迎えた場合の再雇用制度により引き続き雇用に努める。</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 病診連携の強化として、開業医・診療所からの初診・検査予約に対応するため、予約受付を当院の地域連携室で行い、紹介患者のスムーズな診療対応を行った。 救急外来での外国人患者のため、通訳用タブレットを引き続き利用し、円滑な診療体制を維持した。 疾病、病状に応じたきめ細やかな治療として、引き続き午後7時以降の夜間透析や小児リハビリ、手外科リハビリに取り組んだ。 <p>(患者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夜間透析</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>小児リハビリ</td> <td>33名</td> <td>42名</td> </tr> <tr> <td>手外科リハビリ</td> <td>25名</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度末に定年を迎えた技師長2名につき、その専門性を考慮し、定年延長を行った。 夜間救急受付業務に従事する非常勤業務補助職員として、消防職員OB2名を雇用し、常勤職員に係る当直負担の減を図った。 平成27年度末で定年退職を迎えた看護師のうち1名について、引き続き非常勤専門業務職員として雇用した。 	項目	27年度	28年度	夜間透析	2名	2名	小児リハビリ	33名	42名	手外科リハビリ	25名	10名	III
区分\年度	H27	H28																																			
整形外科	1,019	1,217																																			
神経内科	871	880																																			
消化器内科	1,738	1,675																																			
その他	9,604	10,028																																			
合計	13,232	13,800																																			
項目	27年度	28年度																																			
夜間透析	2名	2名																																			
小児リハビリ	33名	42名																																			
手外科リハビリ	25名	10名																																			
◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果		◎ 検証結果の説明、特筆すべき事項、その他コメント	検証結果																														